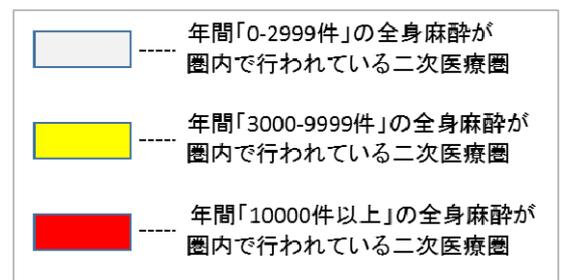
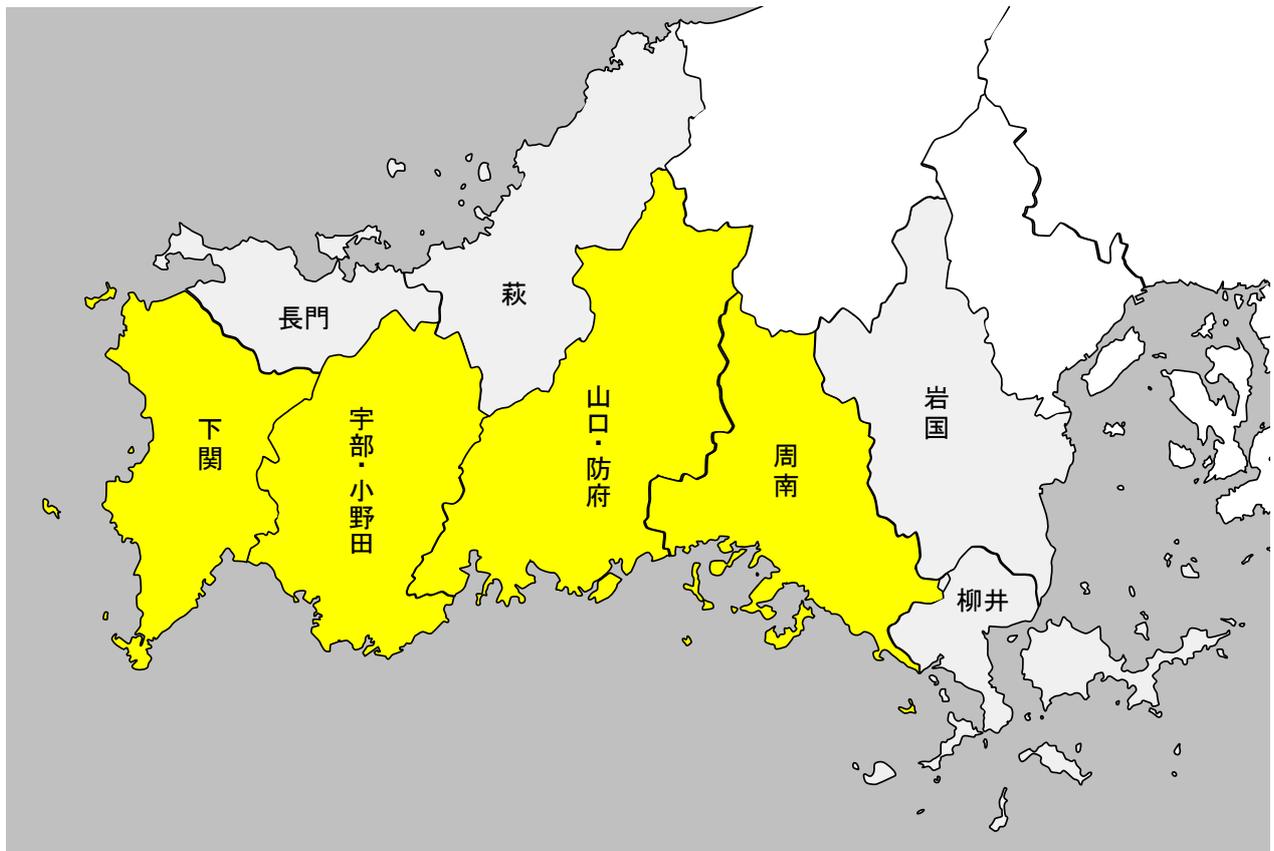


# 35. 山口県



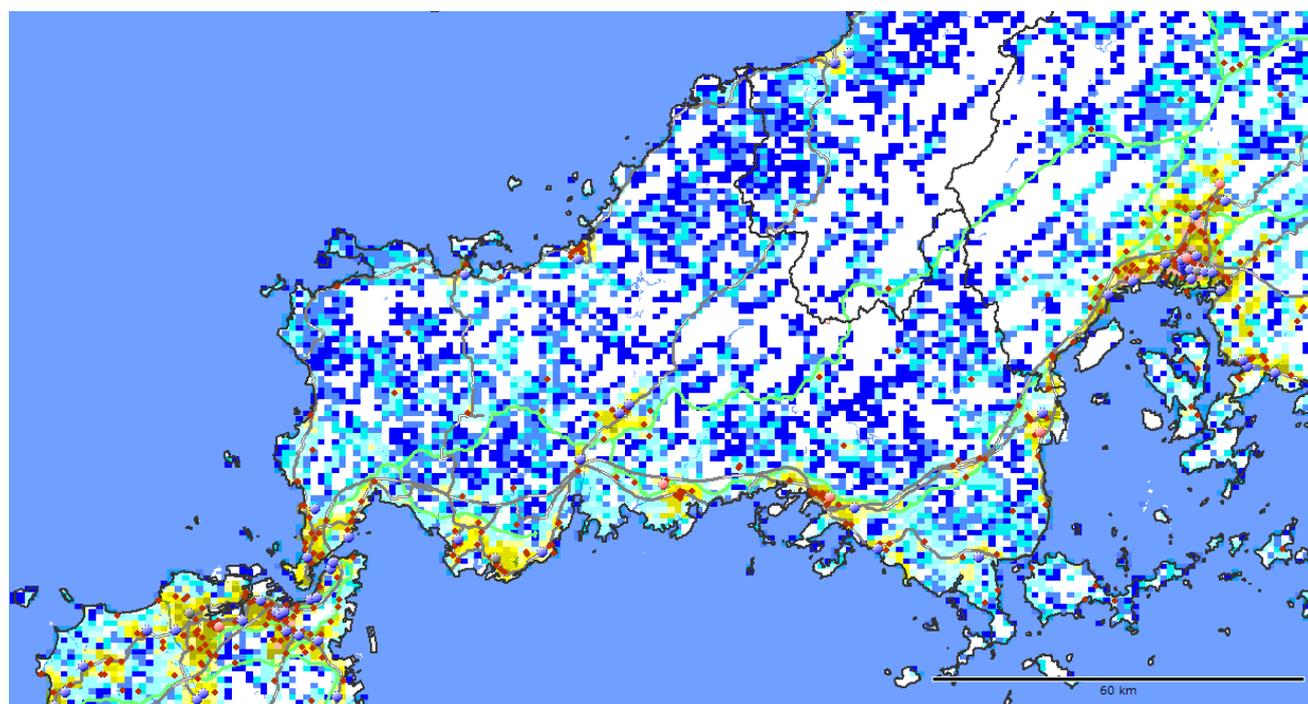
## 35. 山口県

### 目次

山口県.....	35 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	35 - 7
1. 岩国医療圏.....	35 - 19
2. 柳井医療圏.....	35 - 23
3. 周南医療圏.....	35 - 27
4. 山口・防府医療圏.....	35 - 31
5. 宇部・小野田医療圏.....	35 - 35
6. 下関医療圏.....	35 - 39
7. 長門医療圏.....	35 - 43
8. 萩医療圏.....	35 - 47

# 35. 山口県

人口分布<sup>1</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 山口県を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (山口県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 山口県は、総人口約 1399 千人(2015 年推計)、面積 6114 km<sup>2</sup>、人口密度は 229 人/km<sup>2</sup>である。
- \*人口の将来予測： 山口県の総人口は 2025 年に 1275 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 1070 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 228 千人が、2025 年にかけて 278 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 250 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 山口県の一人当たり医療費(国保)は 383 千円(偏差値 68)、介護給付費は 254 千円(偏差値 51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 山口県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.51 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 51(病院医師数 51、診療所医師数 52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 63 と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 54 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 70 と療養病床数は非常に多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 58 と多く、回復期病床数は偏差値 56 と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 58 で精神病床数は多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 山口県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、21705 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 14225 床(偏差値 53)、高齢者住宅等が 7480 床(偏差値 47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17703 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。  
75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 49、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 63、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 58、グループホーム 49、サ高住 55 である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 46 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2543 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は21820床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は14400床であり、その差は-7420床(-34%)である。

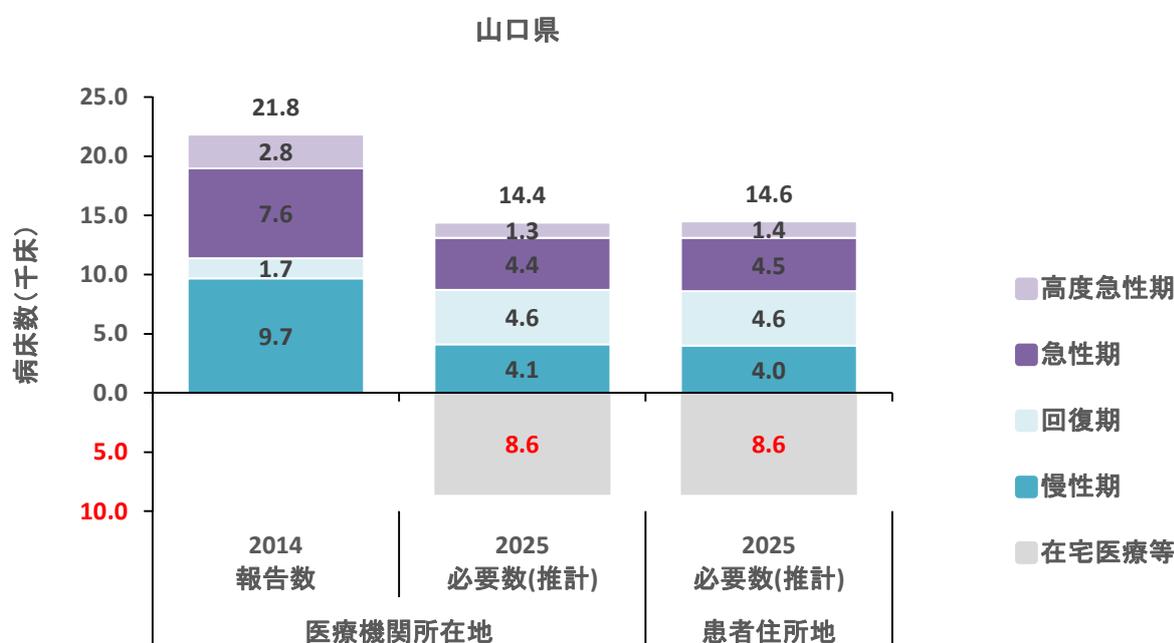
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は2847床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1300床であり、その差は-1547床(-54%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は7592床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4400床であり、その差は-3192床(-42%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1702床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4600床であり、その差は+2898床(+170%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は9679床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4100床であり、その差は-5579床(-58%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は8600人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は±0%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

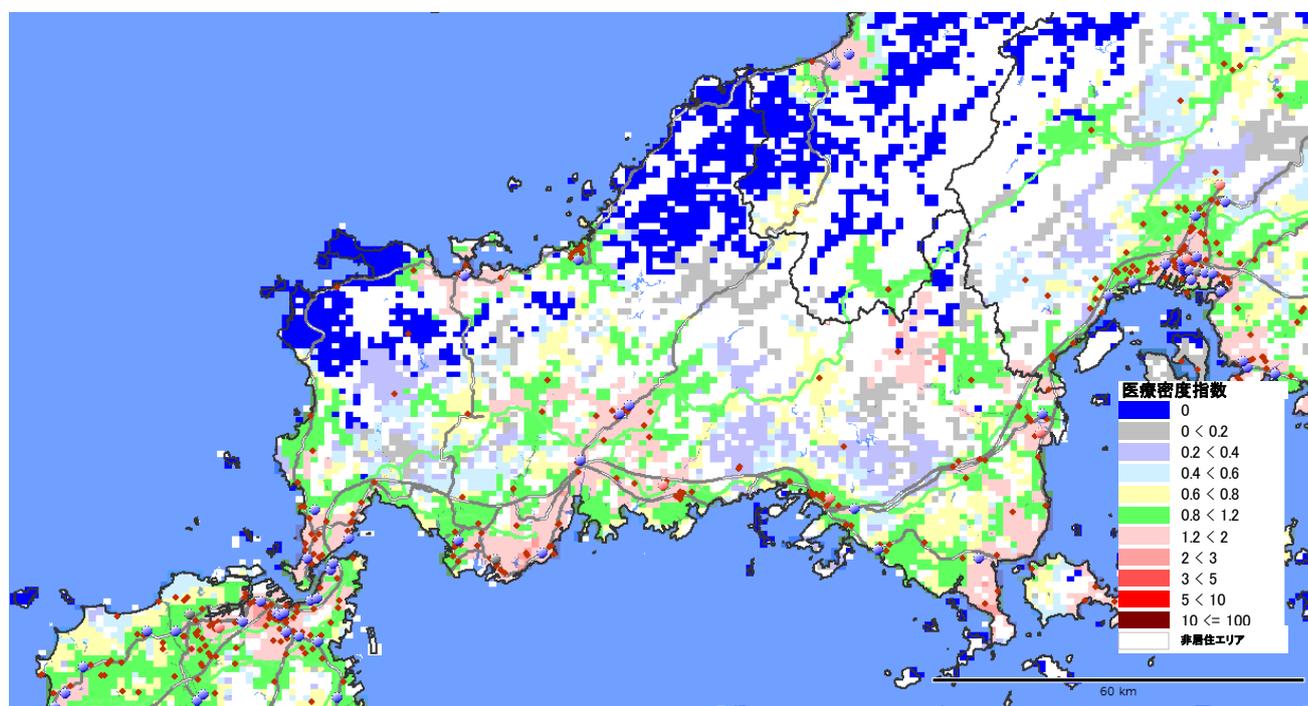
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

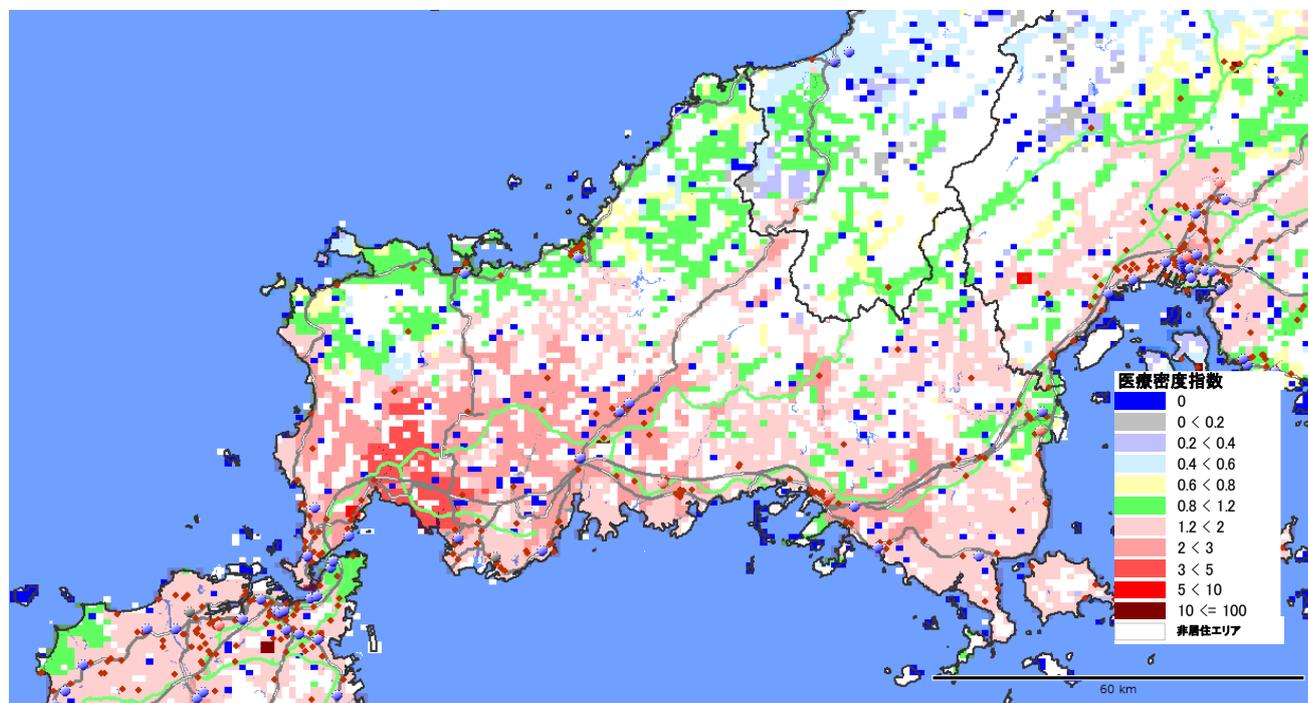
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 35-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
山口県	1,399	27位	6,114	23位	228.8		32%	1,275	1,070	228	278	250	-9%	-16%	22%	-10%
岩国	144	10%	884	14%	162.3	過疎地域型	33%	129	106	25	29	26	-10%	-18%	16%	-10%
柳井	81	6%	398	7%	204.4	地方都市型	40%	70	55	18	20	16	-14%	-21%	11%	-20%
周南	252	18%	838	14%	300.4	地方都市型	31%	234	202	37	49	43	-7%	-14%	32%	-12%
山口・防府	308	22%	1,212	20%	254.2	地方都市型	28%	292	260	44	56	55	-5%	-11%	27%	-2%
宇部・小野田	257	18%	893	15%	287.7	地方都市型	32%	234	195	41	50	46	-9%	-17%	22%	-8%
下関	269	19%	716	12%	375.4	地方都市型	33%	242	197	46	54	48	-10%	-19%	17%	-11%
長門	35	3%	358	6%	99.1	過疎地域型	40%	30	22	8	8	7	-14%	-27%	0%	-13%
萩	53	4%	815	13%	64.8	過疎地域型	41%	44	32	12	13	10	-17%	-27%	8%	-23%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 35-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
山口県	1.13	2.51	0.0%	-21.7%	-9.4%
岩国	1.19	5.84	9.4%	-5.6%	6.1%
柳井	1.15	1.46	14.7%	6.7%	24.0%
周南	0.87	2.35	-7.5%	-43.3%	-25.5%
山口・防府	1.24	2.47	-6.1%	-35.2%	-34.6%
宇部・小野田	1.26	3.08	-5.9%	-31.1%	-19.1%
下関	1.22	2.94	-20.3%	-43.5%	-26.1%
長門	0.93	3.30	-3.4%	-11.7%	7.9%
萩	0.58	2.39	-0.7%	-6.3%	13.5%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

<sup>1</sup>日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

35. 山口県

資\_図表 35-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
山口県	383	68	254	51
岩国	385	68	260	53
柳井	410	74	264	54
周南	359	62	226	43
山口・防府	369	64	259	52
宇部・小野田	424	77	268	55
下関	391	70	255	51
長門	392	70	229	44
萩	395	70	272	56
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資\_図表 35-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
山口県	148	1.7%	10.6	59	1,280	1.3%	92	56
岩国	17	11%	11.8	62	128	10%	89	55
柳井	9	6%	11.1	60	71	6%	87	54
周南	24	16%	9.5	57	219	17%	87	54
山口・防府	27	18%	8.8	55	256	20%	83	52
宇部・小野田	30	20%	11.7	62	249	19%	97	59
下関	28	19%	10.4	59	276	22%	103	62
長門	6	4%	16.9	74	27	2%	76	48
萩	7	5%	13.3	66	54	4%	102	62
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資\_図表 35-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,528		79	(19.6)			72	(19.0)			7.3	(7.0)
山口県	1,280	1.3%	92	56	1,115	1.2%	80	54	165	1.8%	11.8	56
岩国	128	10%	89	55	113	10%	79	54	15	9%	10.5	55
柳井	71	6%	87	54	62	6%	76	52	9	5%	11.1	55
周南	219	17%	87	54	196	18%	78	53	23	14%	9.1	53
山口・防府	256	20%	83	52	225	20%	73	51	31	19%	10.1	54
宇部・小野田	249	19%	97	59	225	20%	88	58	24	15%	9.3	53
下関	276	22%	103	62	225	20%	84	56	51	31%	19.0	67
長門	27	2%	76	48	23	2%	65	46	4	2%	11.3	56
萩	54	4%	102	62	46	4%	87	58	8	5%	15.1	61
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 35-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,573,772		1,243	(510)			96	(111)			1,338	(576)
山口県	27,284	1.7%	1,951	64	2,325	1.9%	166	56	29,609	1.7%	2,117	64
岩国	2,347	9%	1,635	58	174	7%	121	52	2,521	9%	1,757	57
柳井	2,480	9%	3,050	85	133	6%	164	56	2,613	9%	3,214	83
周南	3,761	14%	1,495	55	325	14%	129	53	4,086	14%	1,624	55
山口・防府	4,800	18%	1,558	56	443	19%	144	54	5,243	18%	1,702	56
宇部・小野田	6,239	23%	2,427	73	348	15%	135	54	6,587	22%	2,563	71
下関	5,674	21%	2,110	67	769	33%	286	67	6,443	22%	2,396	68
長門	933	3%	2,631	77	54	2%	152	55	987	3%	2,784	75
萩	1,050	4%	1,988	65	79	3%	150	55	1,129	4%	2,138	64
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

35. 山口県

資\_図表 35-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
山口県	11,351	1.3%	812	54	9,694	3.0%	693	70	6,069	1.8%	434	58
岩国	1,068	9%	744	52	754	8%	525	62	525	9%	366	54
柳井	872	8%	1,072	66	1,048	11%	1,289	98	560	9%	689	69
周南	1,759	15%	699	50	1,371	14%	545	63	619	10%	246	49
山口・防府	2,152	19%	699	50	1,463	15%	475	60	1,171	19%	380	55
宇部・小野田	2,573	23%	1,001	63	1,997	21%	777	74	1,569	26%	610	66
下関	2,232	20%	830	55	2,296	24%	854	78	1,110	18%	413	57
長門	364	3%	1,027	64	243	3%	685	70	318	5%	897	79
萩	331	3%	627	46	522	5%	988	84	197	3%	373	55
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 35-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>3</sup>

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
山口県	1,196	1.6%	86	56	727	3.4%	52	54
岩国	96	8%	67	52	52	7%	36	50
柳井	32	3%	39	46	0	0%	0	42
周南	330	28%	131	66	218	30%	87	61
山口・防府	135	11%	44	47	119	16%	39	51
宇部・小野田	211	18%	82	55	84	12%	33	49
下関	392	33%	146	69	254	35%	94	63
長門	0	0%	0	37	0	0%	0	42
萩	0	0%	0	37	0	0%	0	42
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

<sup>3</sup> 福岡県・近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

資\_図表 35-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
山口県	31,332	1.2%	2,240	52	11,688	1.1%	836	50
岩国	2,844	9%	1,982	49	756	6%	527	39
柳井	1,572	5%	1,933	49	384	3%	472	37
周南	5,076	16%	2,017	50	2,328	20%	925	53
山口・防府	7,080	23%	2,298	53	3,024	26%	982	55
宇部・小野田	7,872	25%	3,063	61	2,292	20%	892	52
下関	5,700	18%	2,120	51	2,352	20%	875	51
長門	444	1%	1,252	42	252	2%	711	46
萩	744	2%	1,409	43	300	3%	568	41
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 35-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
山口県	3,797	1.2%	271	51	2,364	1.1%	169	51	1,434	1.2%	102	52
岩国	334	9%	232	47	206	9%	144	47	127	9%	89	48
柳井	190	5%	234	47	119	5%	146	47	71	5%	87	47
周南	574	15%	228	46	327	14%	130	45	247	17%	98	51
山口・防府	738	19%	240	48	444	19%	144	47	294	21%	96	50
宇部・小野田	975	26%	379	64	692	29%	269	66	283	20%	110	55
下関	791	21%	294	54	450	19%	168	51	341	24%	127	60
長門	86	2%	243	48	61	3%	172	51	25	2%	71	42
萩	110	3%	207	44	64	3%	121	44	45	3%	86	47
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

35. 山口県

資\_図表 35-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
山口県	16,995	1.6%	1,215	63	13,931	1.6%	996	62	3,064	1.7%	219	60
岩国	1,513	9%	1,054	57	1,230	9%	857	56	282	9%	197	57
柳井	1,127	7%	1,386	69	988	7%	1,215	71	139	5%	171	54
周南	2,585	15%	1,027	56	2,010	14%	799	54	575	19%	228	62
山口・防府	3,525	21%	1,144	60	2,746	20%	891	58	779	25%	253	65
宇部・小野田	3,718	22%	1,447	71	3,230	23%	1,256	73	489	16%	190	56
下関	3,410	20%	1,268	65	2,771	20%	1,031	64	639	21%	238	63
長門	499	3%	1,408	70	433	3%	1,221	72	66	2%	187	56
萩	618	4%	1,170	61	523	4%	990	62	95	3%	180	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 35-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
山口県	1,814	1.6%	130	58	3,159	1.1%	226	51
岩国	143	8%	100	52	314	10%	219	50
柳井	66	4%	81	49	166	5%	204	48
周南	327	18%	130	58	572	18%	227	51
山口・防府	317	17%	103	53	711	23%	231	51
宇部・小野田	337	19%	131	59	687	22%	267	55
下関	539	30%	200	73	530	17%	197	47
長門	46	3%	129	58	83	3%	234	51
萩	40	2%	75	47	96	3%	182	46
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資\_図表 35-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養 支援診療 所	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	在宅療養 支援病院	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
山口県	153	1.1%	0.7	46	16	1.6%	0.1	51
岩国	5	3%	0.2	35	1	6%	0.0	46
柳井	14	9%	0.8	48	0	0%	0	39
周南	16	10%	0.4	40	5	31%	0.1	63
山口・防府	27	18%	0.6	44	3	19%	0.1	51
宇部・小野田	45	29%	1.1	55	5	31%	0.1	60
下関	36	24%	0.8	48	1	6%	0.0	43
長門	5	3%	0.7	45	0	0%	0	39
萩	5	3%	0.4	40	1	6%	0.1	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 35-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者 施設・住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
山口県	21,705	1.4%	95	50	14,225	1.5%	62	53	7,480	1.2%	33	47
岩国	2,505	12%	101	53	1,398	10%	56	48	1,107	15%	44	55
柳井	1,896	9%	106	57	1,500	11%	84	70	396	5%	22	40
周南	3,249	15%	89	46	2,148	15%	59	50	1,101	15%	30	45
山口・防府	4,354	20%	100	53	2,736	19%	63	53	1,618	22%	37	50
宇部・小野田	4,168	19%	103	54	2,352	17%	58	49	1,816	24%	45	56
下関	3,819	18%	84	43	2,709	19%	59	51	1,110	15%	24	41
長門	668	3%	88	45	520	4%	68	58	148	2%	19	38
萩	1,046	5%	88	45	862	6%	73	61	184	2%	15	35
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅 定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老 人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数 の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループ ホーム、サ高住の合計			

35. 山口県

資\_図表 35-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
山口県	4,834	1.4%	21	49	7,192	1.3%	31	49	2,199	3.2%	9.6	63
岩国	460	10%	18	44	860	12%	35	52	78	4%	3.1	47
柳井	460	10%	26	57	596	8%	33	51	444	20%	24.9	99
周南	852	18%	23	53	1,060	15%	29	46	236	11%	6.5	55
山口・防府	1,136	24%	26	58	1,307	18%	30	47	293	13%	6.7	56
宇部・小野田	790	16%	19	46	1,177	16%	29	46	385	18%	9.5	63
下関	786	16%	17	42	1,352	19%	30	47	571	26%	12.5	70
長門	180	4%	24	53	340	5%	45	62	0	0%	0	40
萩	170	4%	14	37	500	7%	42	59	192	9%	16.2	78
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
山口県	1,123	0.5%	4.9	42	630	3.1%	2.8	58	2,445	1.3%	10.7	49
岩国	295	26%	11.8	49	160	25%	6.4	78	369	15%	14.8	56
柳井	30	3%	1.7	39	50	8%	2.8	58	198	8%	11.1	50
周南	101	9%	2.8	40	170	27%	4.7	68	467	19%	12.8	53
山口・防府	227	20%	5.2	43	50	8%	1.1	49	475	19%	10.9	49
宇部・小野田	302	27%	7.4	45	150	24%	3.7	63	450	18%	11.1	50
下関	168	15%	3.7	41	0	0%	0	43	342	14%	7.5	43
長門	0	0%	0	37	0	0%	0	43	54	2%	7.1	42
萩	0	0%	0	37	50	8%	4.2	66	90	4%	7.6	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
山口県	3,282	1.7%	14.4	55	50	0.5%	0.2	47	3,232	1.8%	14.1	55
岩国	283	9%	11.4	50	0	0%	0	45	283	9%	11.4	51
柳井	118	4%	6.6	42	0	0%	0	45	118	4%	6.6	43
周南	363	11%	9.9	47	0	0%	0	45	363	11%	9.9	48
山口・防府	866	26%	19.9	63	0	0%	0	45	866	27%	19.9	65
宇部・小野田	914	28%	22.5	68	0	0%	0	45	914	28%	22.5	70
下関	600	18%	13.2	53	0	0%	0	45	600	19%	13.2	54
長門	94	3%	12.4	51	50	100%	6.6	99	44	1%	5.8	41
萩	44	1%	3.7	37	0	0%	0	45	44	1%	3.7	38
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
山口県	2,453	1.6%	10.7	56	1,961	1.7%	8.6	57	492	1.3%	2.2	48
岩国	198	8%	7.9	44	176	9%	7.0	50	22	5%	0.9	33
柳井	311	13%	17.4	82	279	14%	15.6	88	32	7%	1.8	44
周南	362	15%	9.9	52	290	15%	7.9	54	72	15%	2.0	46
山口・防府	474	19%	10.9	56	332	17%	7.6	53	142	29%	3.3	62
宇部・小野田	429	18%	10.6	55	320	16%	7.9	54	109	22%	2.7	55
下関	492	20%	10.8	56	401	20%	8.8	58	91	18%	2.0	46
長門	62	3%	8.1	45	46	2%	6.0	46	16	3%	2.1	48
萩	124	5%	10.5	55	117	6%	9.9	62	7	1%	0.6	29
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

35. 山口県

資\_図表 35-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
山口県	20,247	1.4%	89	50	17,703	1.4%	77	52	2,543	1.2%	11.1	46
岩国	2,332	12%	94	54	2,102	12%	84	57	230	9%	9.2	42
柳井	1,552	8%	87	49	1,399	8%	78	52	153	6%	8.6	41
周南	3,378	17%	92	53	2,904	16%	80	53	473	19%	13.0	49
山口・防府	4,191	21%	96	55	3,631	21%	83	56	559	22%	12.8	49
宇部・小野田	3,463	17%	85	48	3,071	17%	76	51	392	15%	9.7	43
下関	3,803	19%	83	47	3,200	18%	70	47	603	24%	13.2	50
長門	572	3%	75	42	517	3%	68	45	55	2%	7.2	39
萩	957	5%	81	45	880	5%	74	50	77	3%	6.5	37
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
山口県	6,795	0.9%	30	44	3,327	1.0%	15	43	15,496	1.1%	68	44
岩国	672	10%	27	43	129	4%	5	33	1,608	10%	65	43
柳井	300	4%	17	39	213	6%	12	40	1,042	7%	58	41
周南	1,084	16%	30	44	462	14%	13	41	2,171	14%	59	41
山口・防府	1,445	21%	33	45	1,270	38%	29	59	3,060	20%	70	45
宇部・小野田	1,116	16%	28	43	605	18%	15	43	2,747	18%	68	44
下関	1,930	28%	42	49	529	16%	12	40	3,944	25%	87	50
長門	8	0%	1	32	62	2%	8	36	426	3%	56	40
萩	240	4%	20	40	57	2%	5	32	498	3%	42	35
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 35-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
山口県	8,848	7,712	837	18,165	3,634	8,763	68.0%	56	8.7%	50
岩国	648	648	0	1,699	420	754	60.7%	53	0.0%	46
柳井	900	840	60	1,520	32	988	96.3%	68	5.7%	49
周南	1,222	974	248	2,474	792	1,073	55.2%	51	18.8%	54
山口・防府	1,613	1,469	142	3,181	692	1,318	68.0%	56	9.7%	50
宇部・小野田	2,186	1,744	181	3,983	829	1,816	67.8%	56	9.1%	50
下関	1,870	1,719	115	3,734	484	2,140	78.0%	61	5.1%	48
長門	309	218	91	624	154	152	58.6%	53	37.4%	62
萩	100	100	0	950	231	522	30.2%	41	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

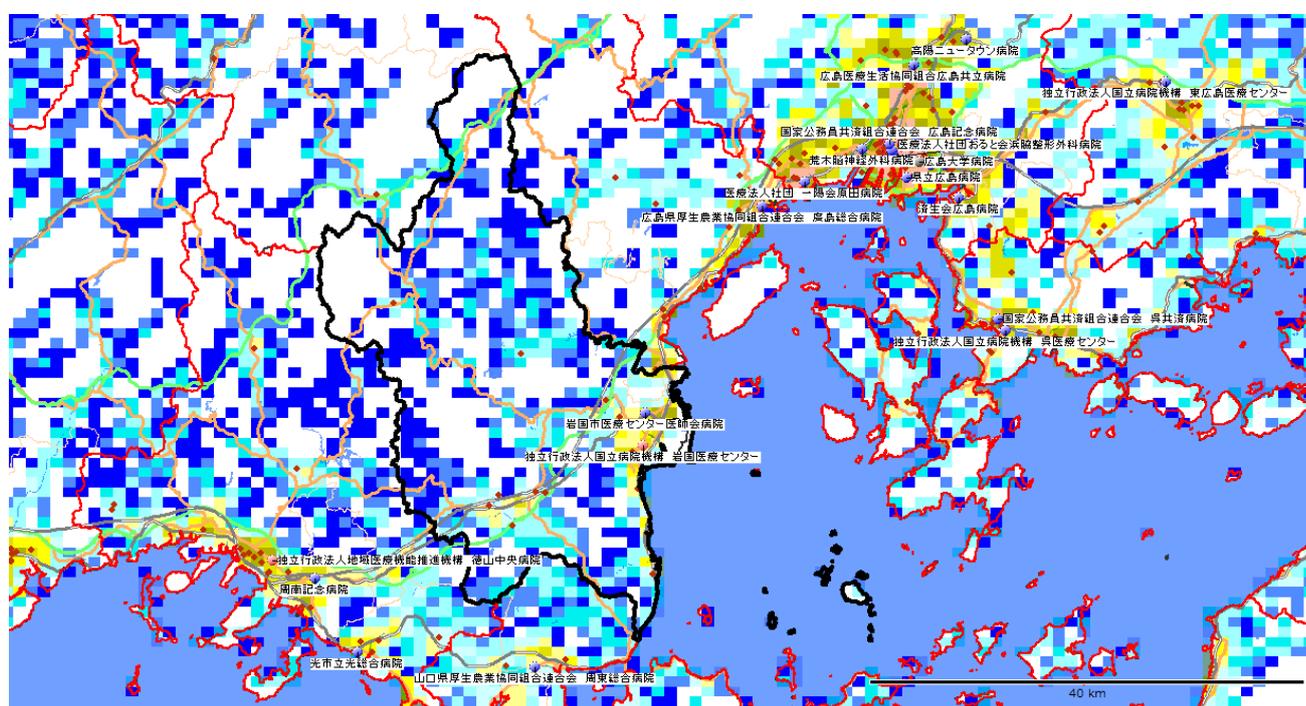
35. 山口県

# 35-1. 岩国医療圏

いわくに

構成市区町村<sup>1</sup> 岩国市,和木町

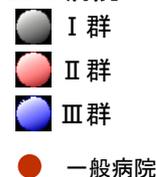
人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 岩国医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (岩国医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 岩国(岩国市)は、総人口約 144 千人(2015 年推計)、面積 884 km<sup>2</sup>、人口密度は 162 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 岩国の総人口は 2025 年に 129 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 106 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 25 千人が、2025 年にかけて 29 千人へと増加し(2015 年比+16%)、2040 年には 26 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 岩国の一人当たり医療費(国保)は 385 千円(偏差値 68)、介護給付費は 260 千円(偏差値 53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 岩国の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.19、一人当たり慢性期医療密度指数は 5.84 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 47(病院医師数 47、診療所医師数 48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。岩国には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の岩国医療センター(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 62 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 52 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 55 で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 岩国の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2505 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1398 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 1107 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2102 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 44、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 47、有料老人ホーム 49、軽費ホーム 78、グループホーム 56、サ高住 50 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 35 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 46 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

やや少ない。介護職員（在宅）の合計は、230人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

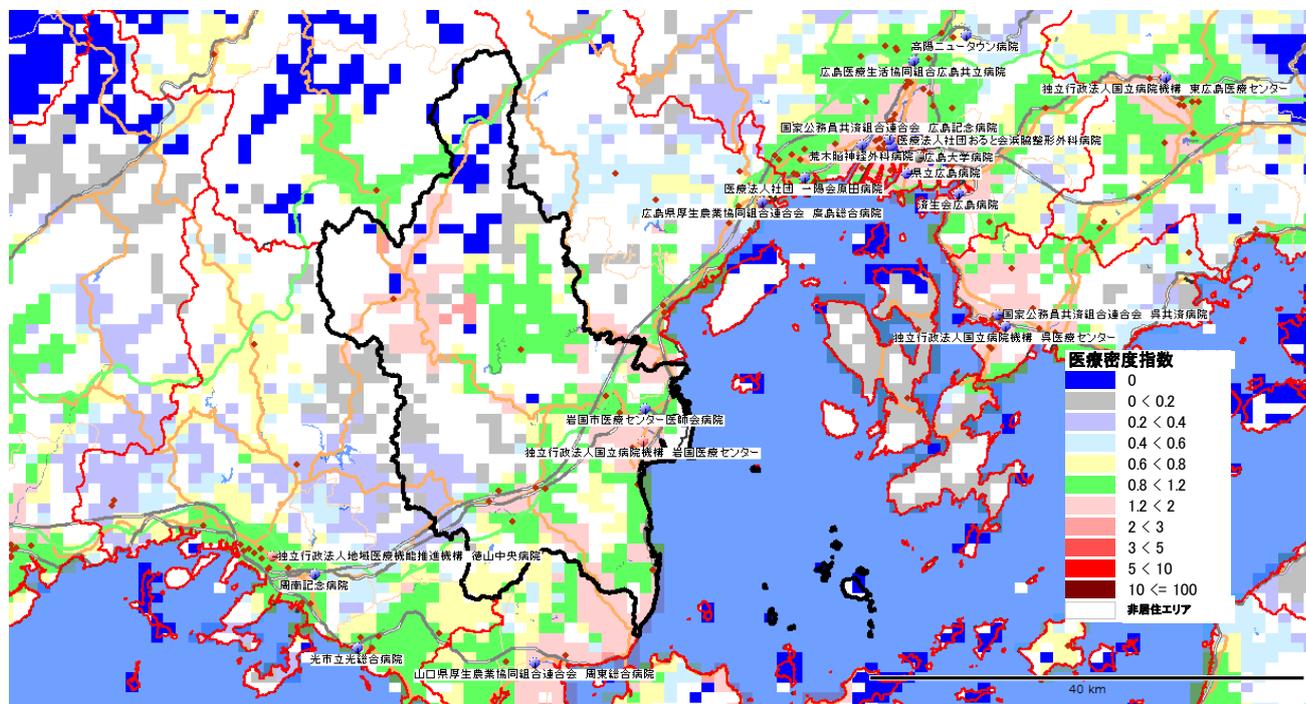
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

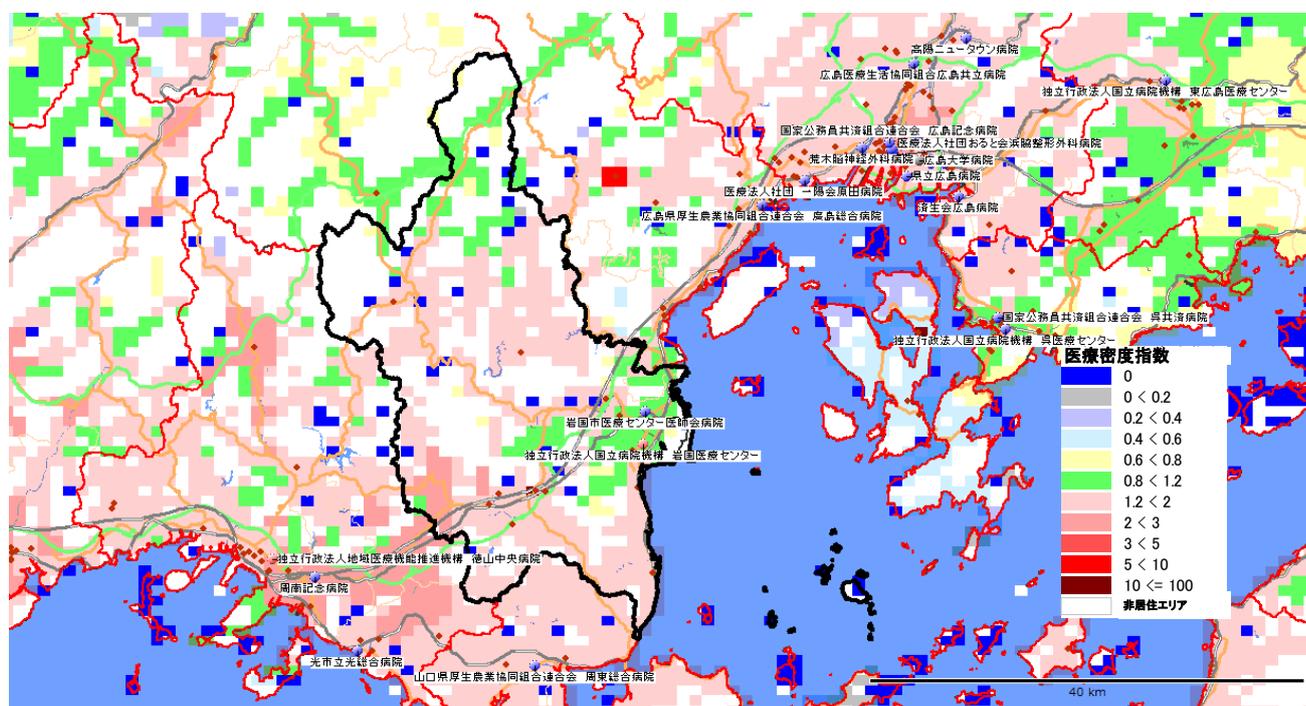
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-1-2 慢性期医療密度指数マップ

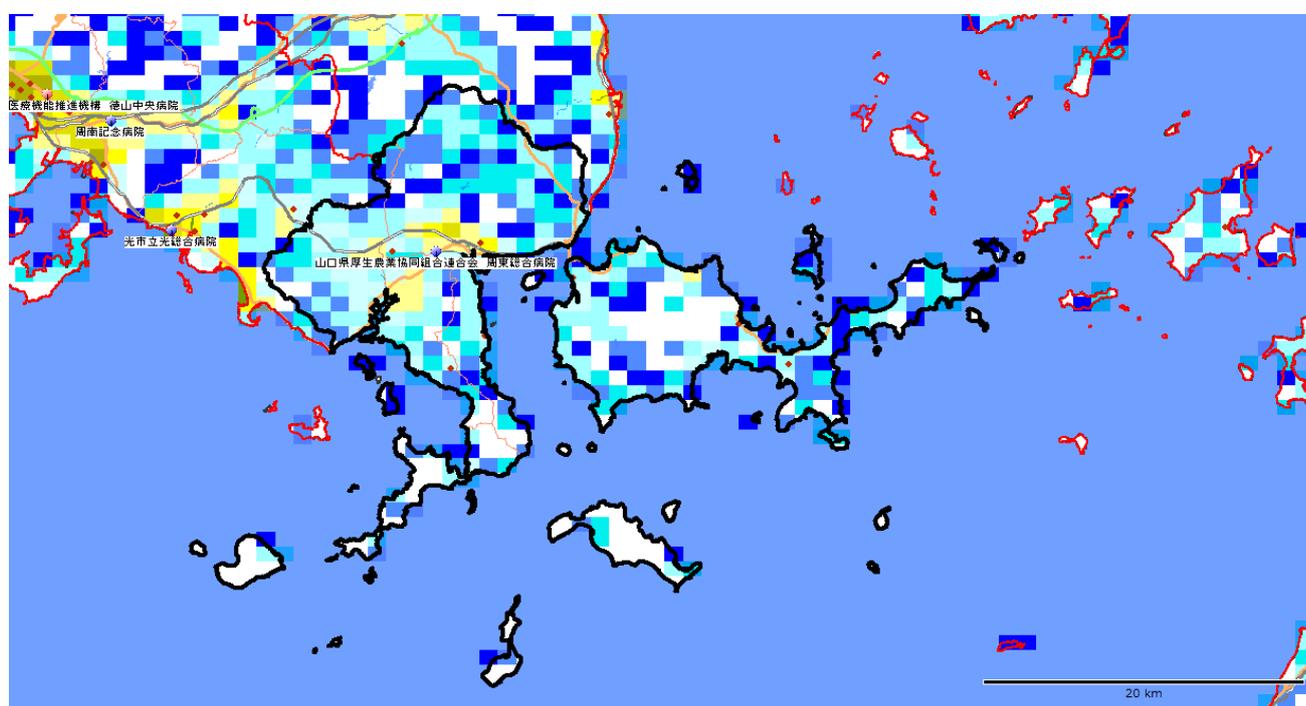


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

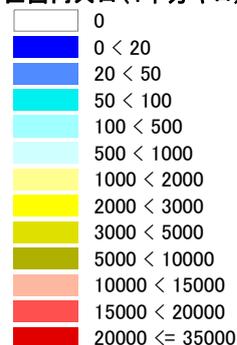
## 35-2. やない 柳井医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 柳井市, 周防大島町, 上関町, 田布施町, 平生町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 柳井医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (柳井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 柳井(柳井市)は、総人口約 81 千人(2015 年推計)、面積 398 km<sup>2</sup>、人口密度は 204 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 柳井の総人口は 2025 年に 70 千人へと減少し(2015 年比-14%)、2040 年に 55 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 18 千人が、2025 年にかけて 20 千人へと増加し(2015 年比+11%)、2040 年には 16 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 柳井の一人当たり医療費(国保)は 410 千円(偏差値 74)、介護給付費は 264 千円(偏差値 54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 柳井の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.15、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.46 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 47(病院医師数 47、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 69 と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 66 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。柳井には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の周東総合病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 98 と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 46 とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 69 で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 柳井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1896 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1500 床(偏差値 70)、高齢者住宅等が 396 床(偏差値 40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1399 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 57、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 99、有料老人ホーム 39、軽費ホーム 58、グループホーム 50、サ高住 42 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員（在宅）の合計は、153 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+15%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+24%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

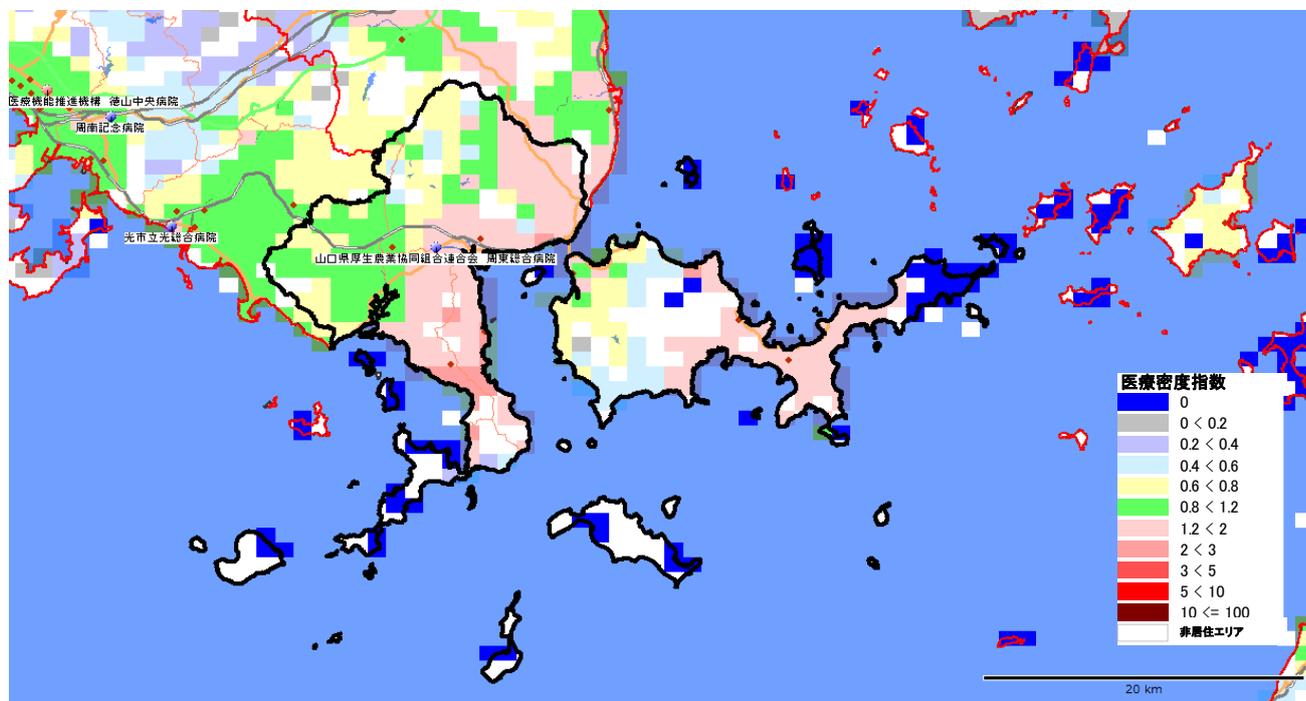
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

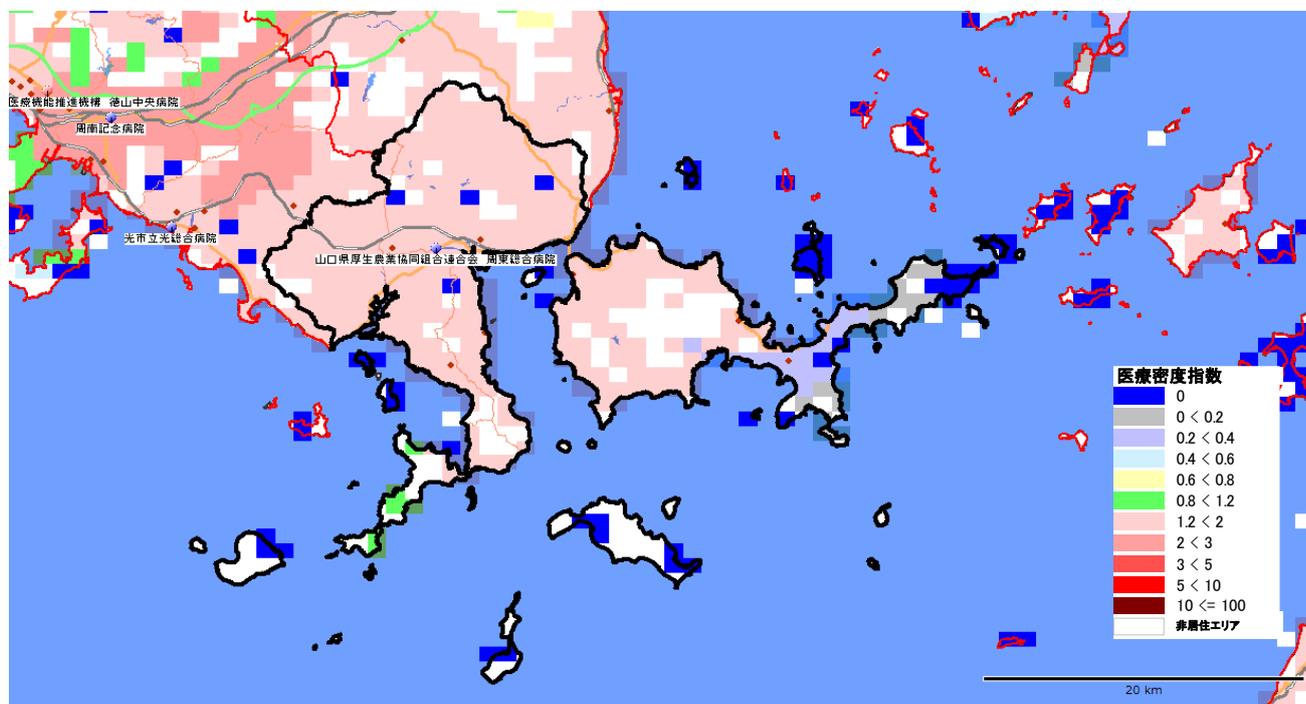
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-2-2 慢性期医療密度指数マップ

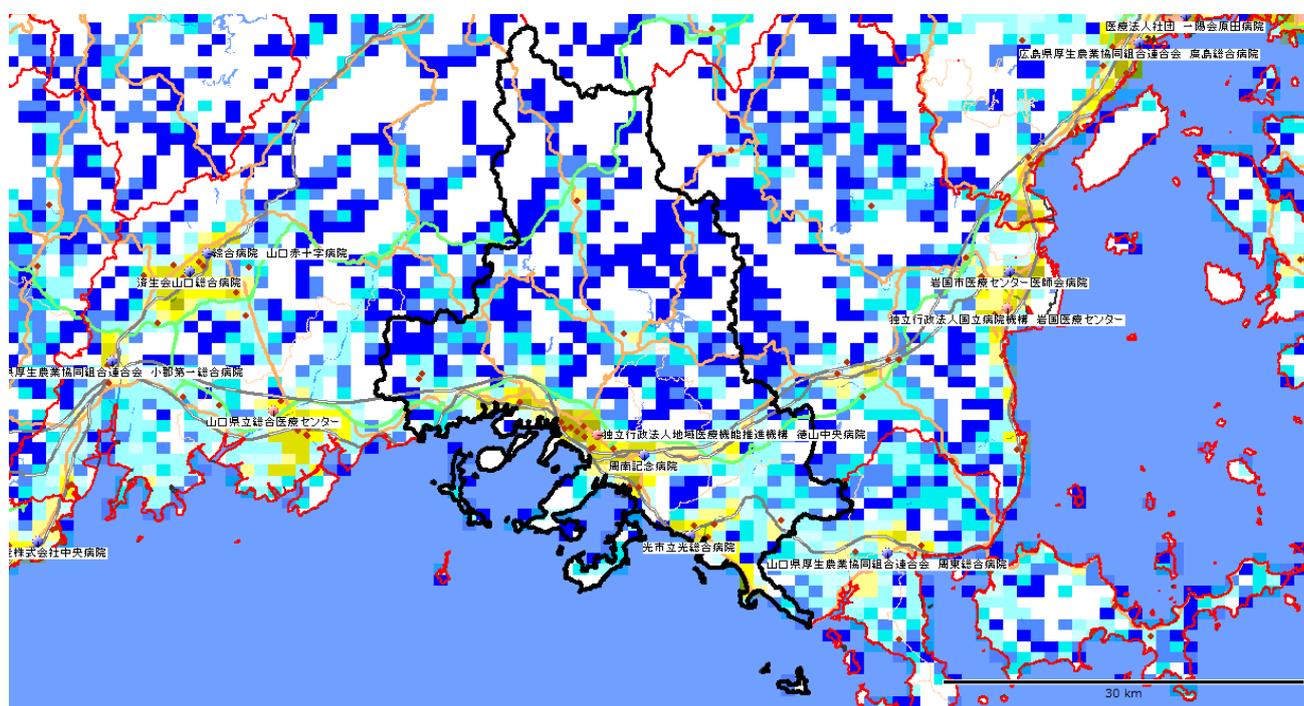


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 35-3. しゅうなん 周南医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [下松市](#), [光市](#), [周南市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 周南医療圏を 1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (周南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 周南(周南市)は、総人口約 252 千人(2015 年推計)、面積 838 km<sup>2</sup>、人口密度は 300 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 周南の総人口は 2025 年に 234 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 202 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 37 千人が、2025 年にかけて 49 千人へと増加し(2015 年比+32%)、2040 年には 43 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 周南の一人当たり医療費(国保)は 359 千円(偏差値 62)、介護給付費は 226 千円(偏差値 43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 周南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.35 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 45、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 56 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。周南には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の徳山中央病院(Ⅱ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 58 と多く、回復期病床数は偏差値 66 と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 49 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 周南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3249 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2148 床(偏差値 50)、高齢者住宅等が 1101 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2904 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 55、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 68、グループホーム 53、サ高住 47 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 40 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 63 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

多い。介護職員（在宅）の合計は、473人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-26%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

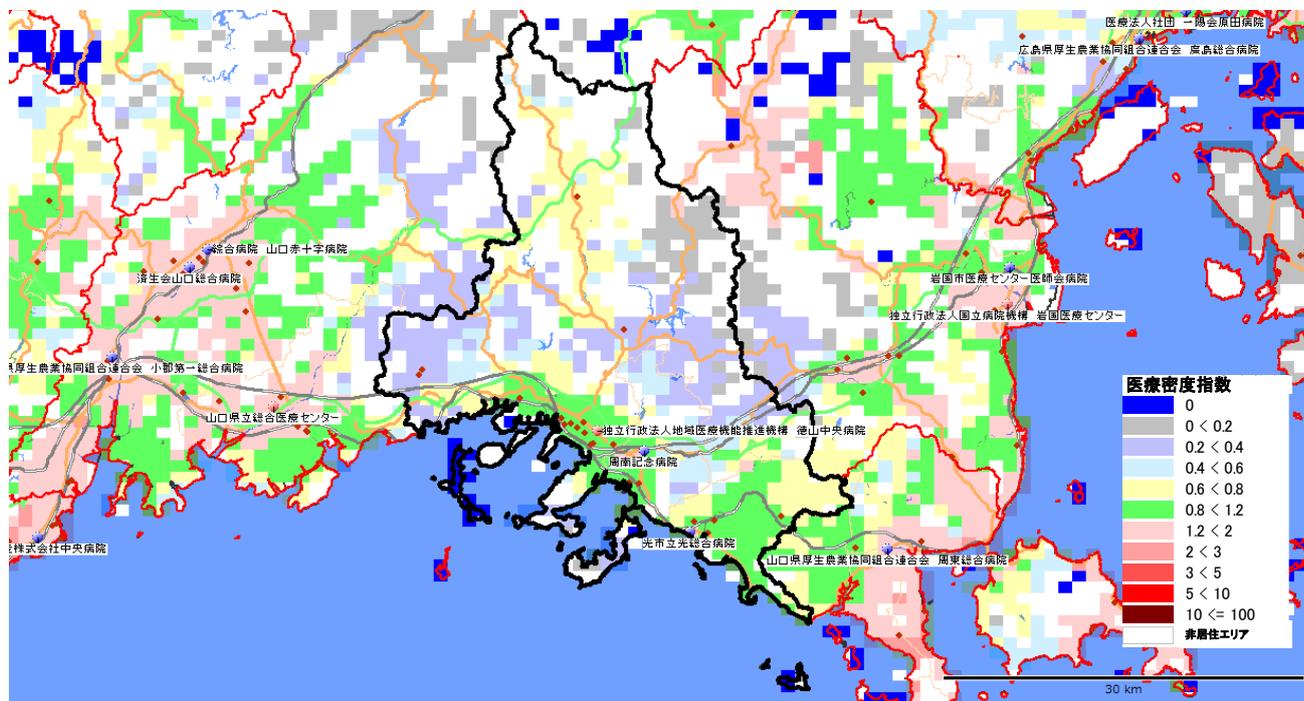
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

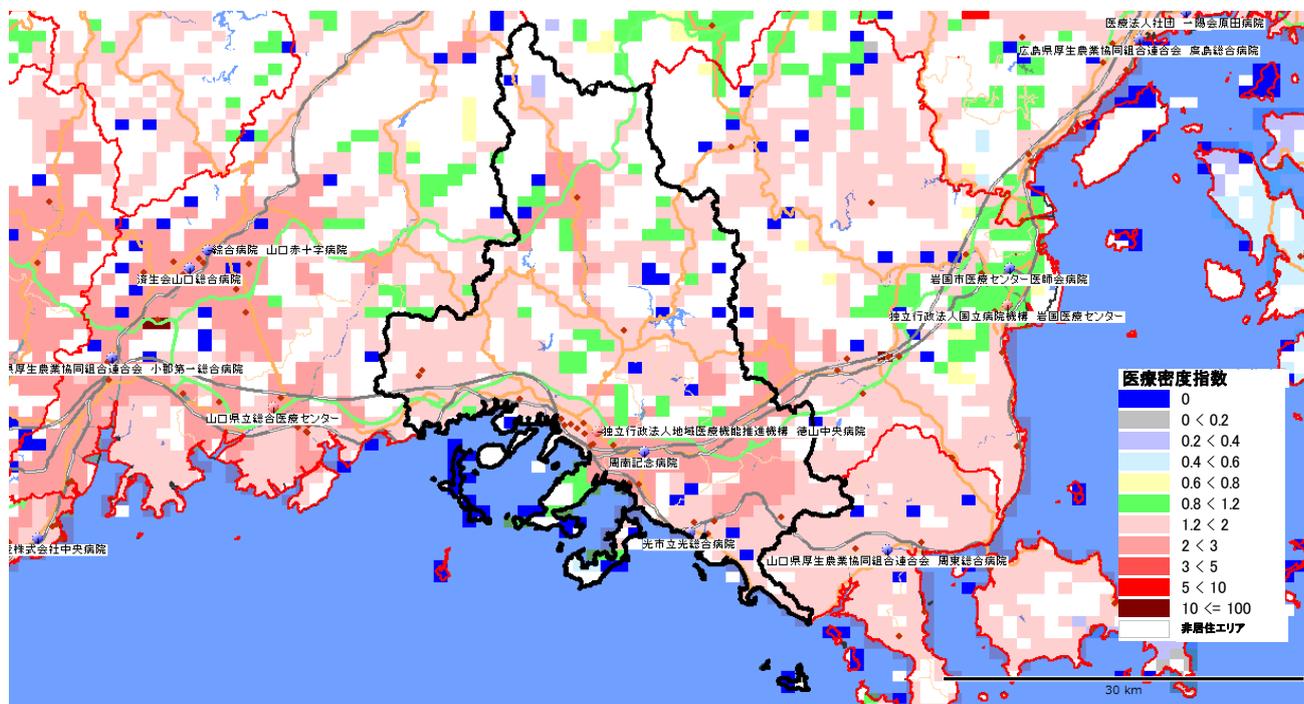
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-3-2 慢性期医療密度指数マップ

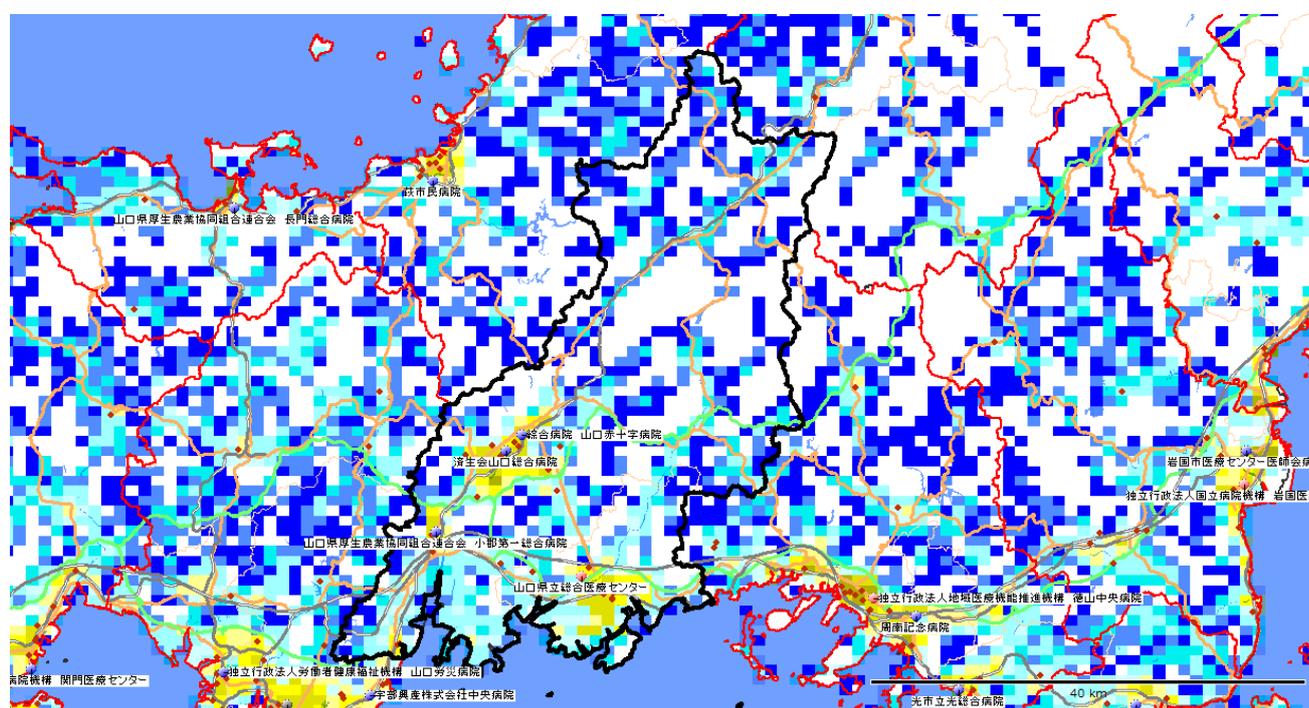


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 35-4. やまぐち ほうふ 山口・防府医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [山口市](#),[防府市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 山口・防府医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (山口・防府医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 山口・防府(山口市)は、総人口約 308 千人(2015 年推計)、面積 1212 km<sup>2</sup>、人口密度は 254 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 山口・防府の総人口は 2025 年に 292 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 260 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 44 千人が、2025 年にかけて 56 千人へと増加し(2015 年比+27%)、2040 年には 55 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 山口・防府の一人当たり医療費(国保)は 369 千円(偏差値 64)、介護給付費は 259 千円(偏差値 52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 山口・防府の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.47 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 47、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 60 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 53 とやや多い。山口・防府には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の山口県立総合医療センター(Ⅱ群・救命)、1000 例以上の小郡第一総合病院、済生会山口総合病院、山口赤十字病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 47 とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 山口・防府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4354 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2736 床(偏差値 53)、高齢者住宅等が 1618 床(偏差値 50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3631 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 56、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 49、グループホーム 49、サ高住 63 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、559 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-35%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

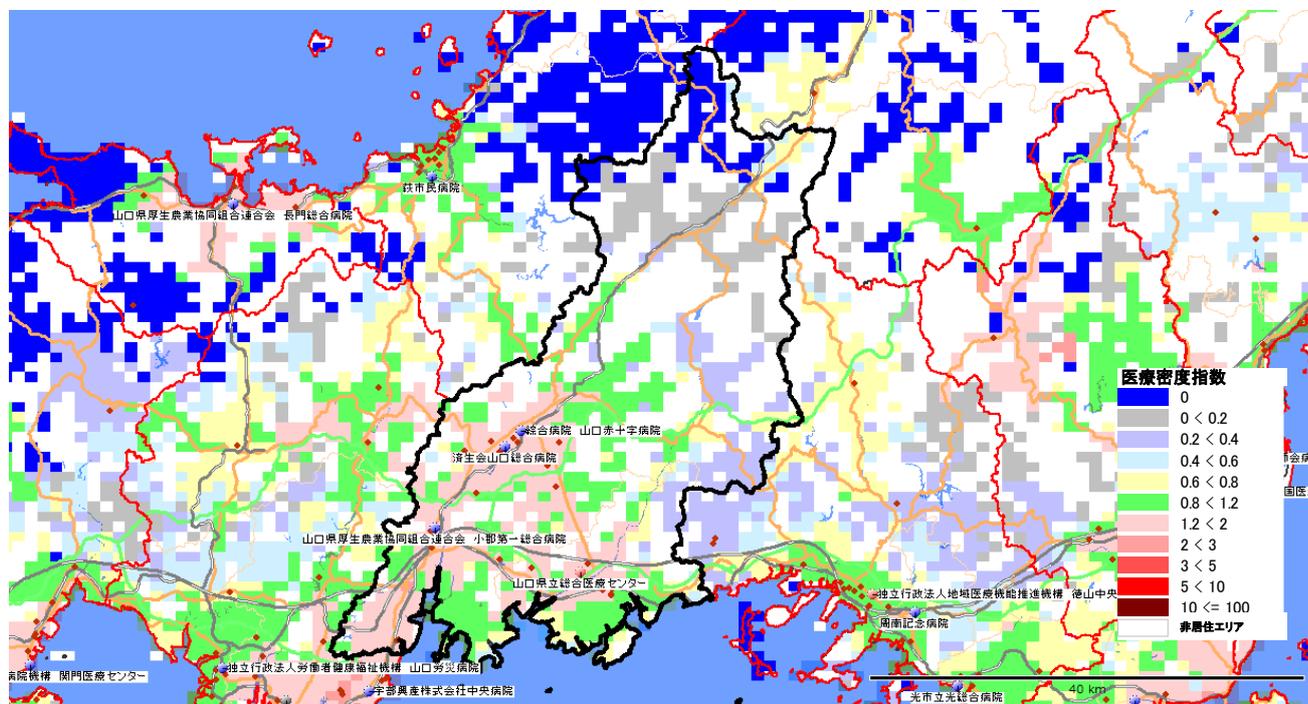
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

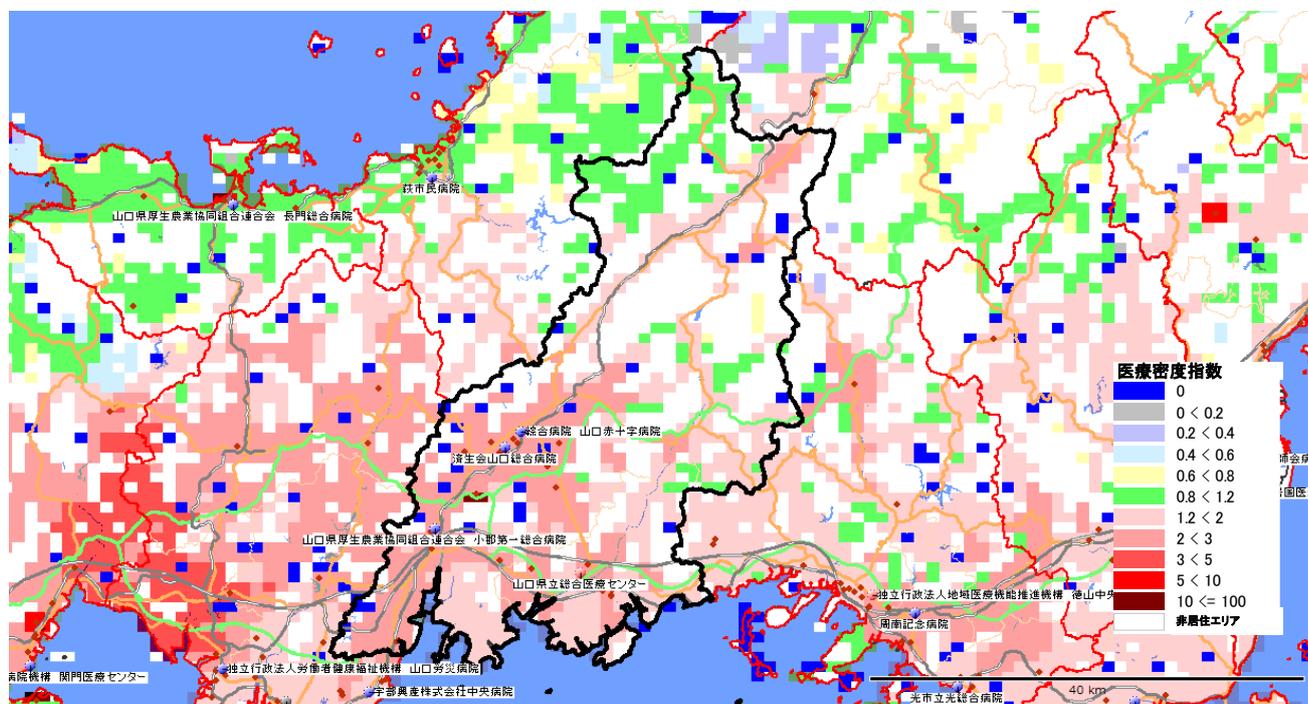
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-4-2 慢性期医療密度指数マップ

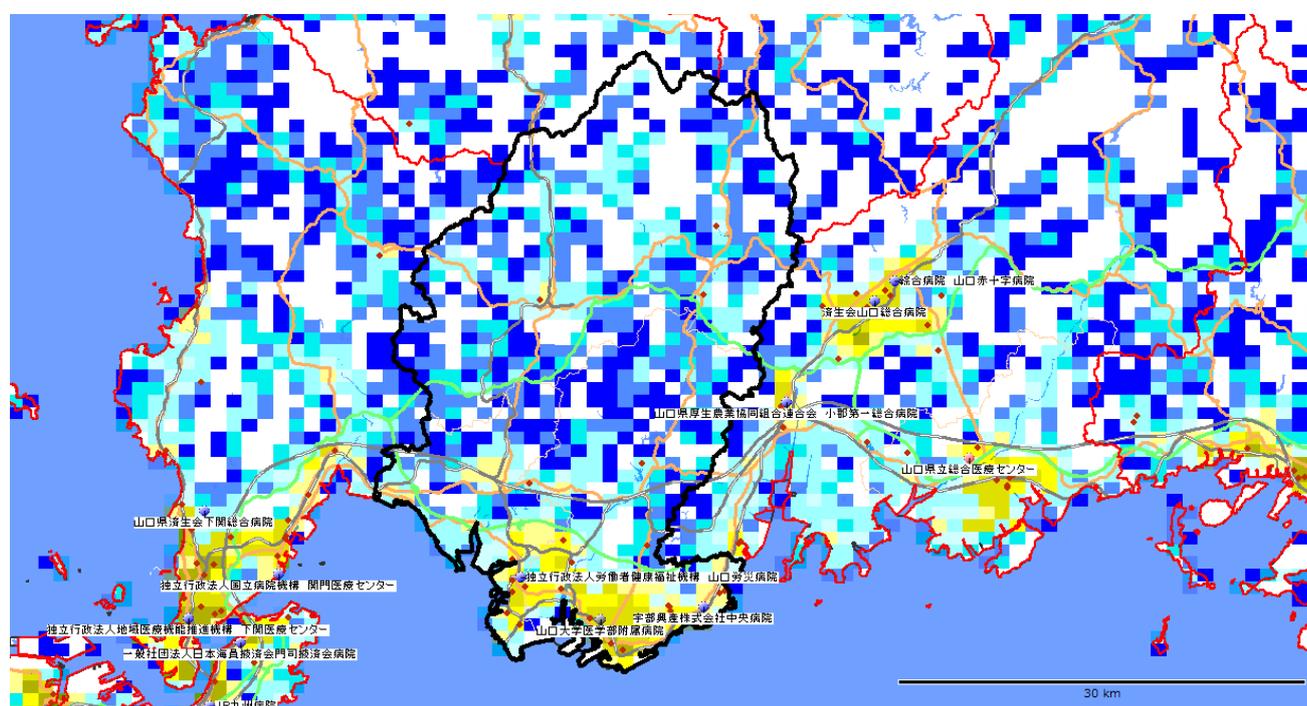


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 35-5. う べ お の だ 宇部・小野田医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 宇部市,美祢市,山陽小野田市

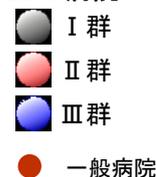
人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 宇部・小野田医療圏を 1 km<sup>2</sup>区画 (1 km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く (10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系は中間レベル (1,000~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系は人口が少ない (1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査 (平成 22 年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (宇部・小野田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 宇部・小野田(宇部市)は、総人口約 257 千人(2015 年推計)、面積 893 km<sup>2</sup>、人口密度は 288 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 宇部・小野田の総人口は 2025 年に 234 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 195 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 41 千人が、2025 年にかけて 50 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 46 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 宇部・小野田の一人当たり医療費(国保)は 424 千円(偏差値 77)、介護給付費は 268 千円(偏差値 55)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 宇部・小野田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.26、一人当たり慢性期医療密度指数は 3.08 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 64(病院医師数 66、診療所医師数 55)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 71 と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 61 と多い。宇部・小野田には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の山口大学医学部附属病院(I 群・救命)、1000 例以上の山口労災病院、500 例以上の宇部興産株式会社中央病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 74 と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 59 と多く、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 66 で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 59 で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 宇部・小野田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4168 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2352 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 1816 床(偏差値 56)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3071 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 63、有料老人ホーム 45、軽費ホーム 63、グループホーム 50、サ高住 68 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 60 と多い。介護職員（在宅）の合計は、392 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-6%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-19%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

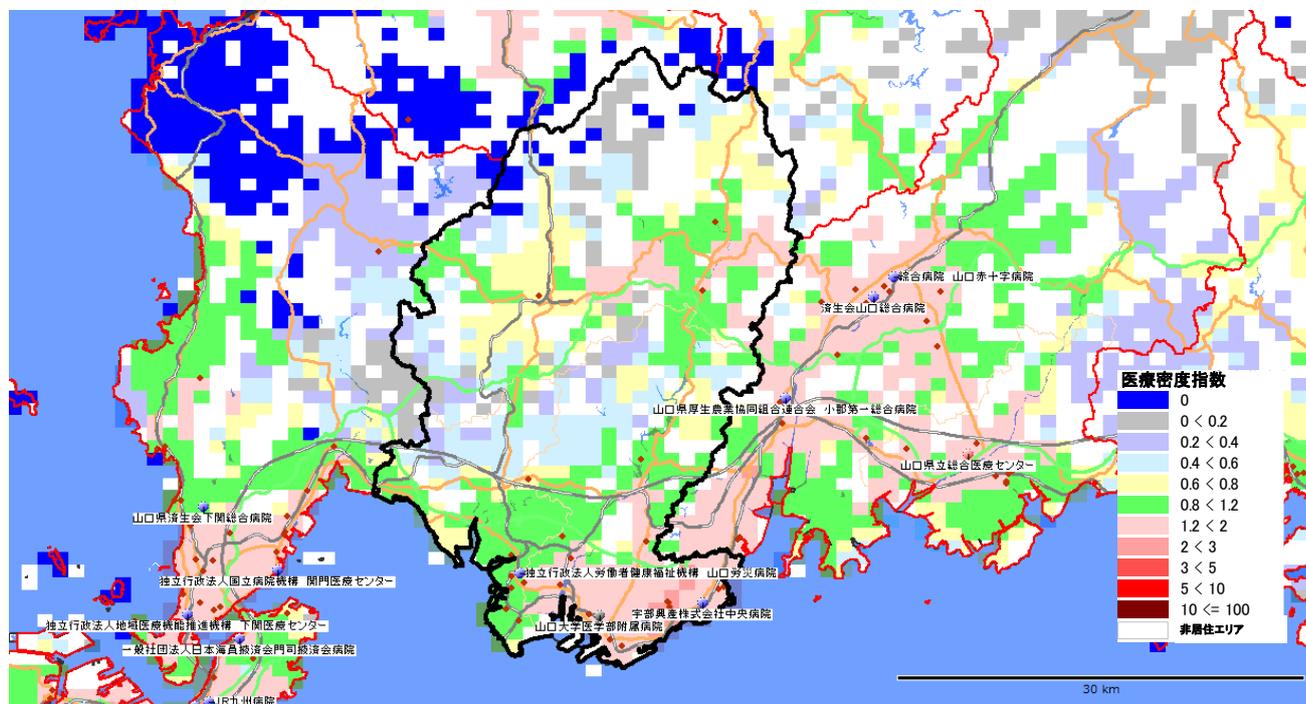
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

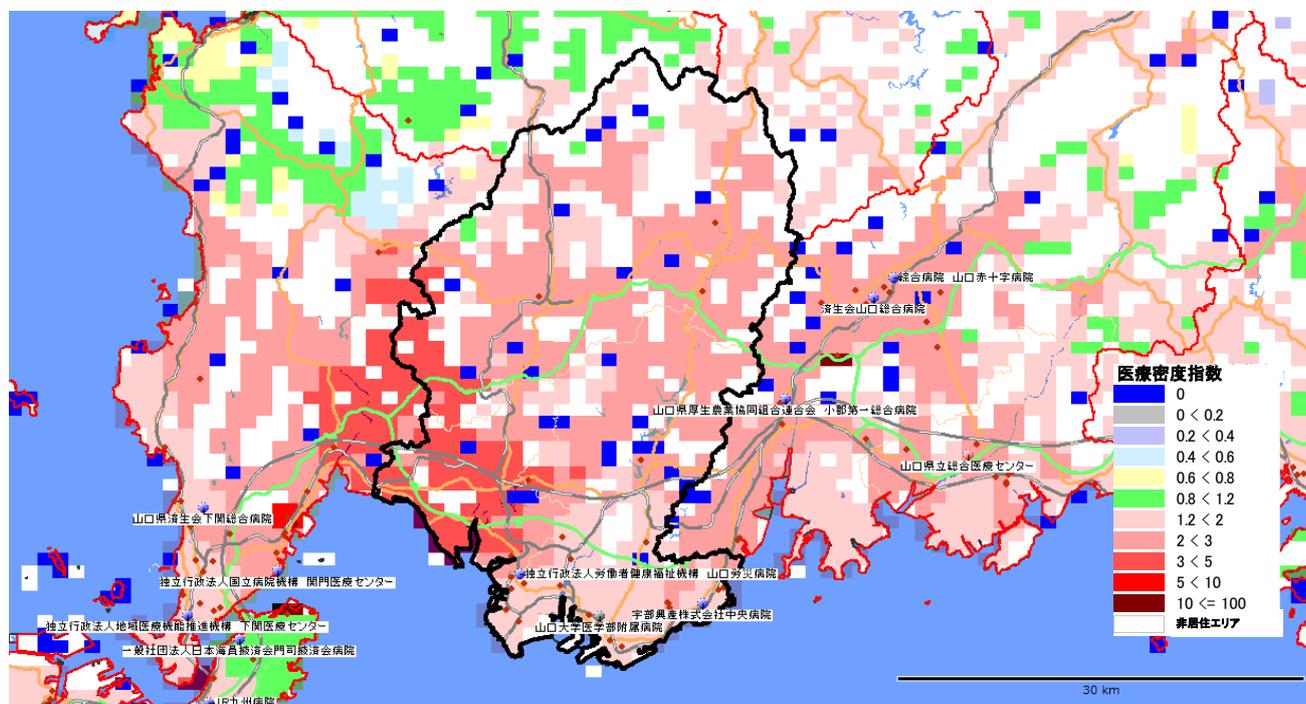
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-5-1 急性期医療密度指数マップ

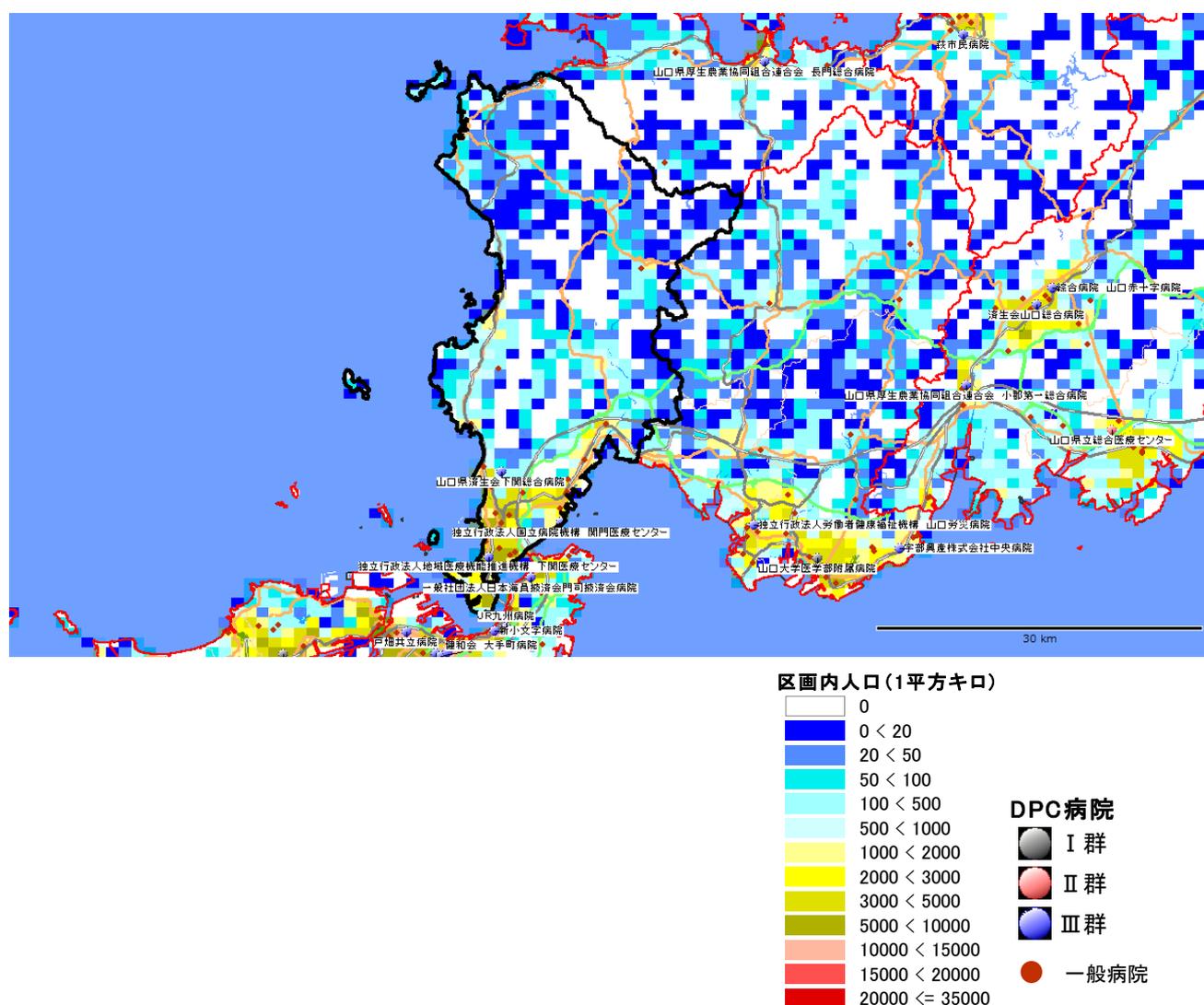


図表 35-5-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 35-6. しものせき 下関医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 下関市人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 下関医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (下関医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 下関(下関市)は、総人口約 269 千人(2015 年推計)、面積 716 km<sup>2</sup>、人口密度は 375 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 下関の総人口は 2025 年に 242 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 197 千人へと減少する(2025 年比-19%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 46 千人が、2025 年にかけて 54 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 48 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 下関の一人当たり医療費(国保)は 391 千円(偏差値 70)、介護給付費は 255 千円(偏差値 51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 下関の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.22、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.94 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 54(病院医師数 51、診療所医師数 60)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。下関には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の下関総合病院、関門医療センター(救命)、500 例以上の下関医療センターがある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 78 と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 73 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 69 と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 62 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 下関の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3819 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2709 床(偏差値 51)、高齢者住宅等が 1110 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3200 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 42、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 70、有料老人ホーム 41、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 43、サ高住 53 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 43 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、603 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-20%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は-26%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

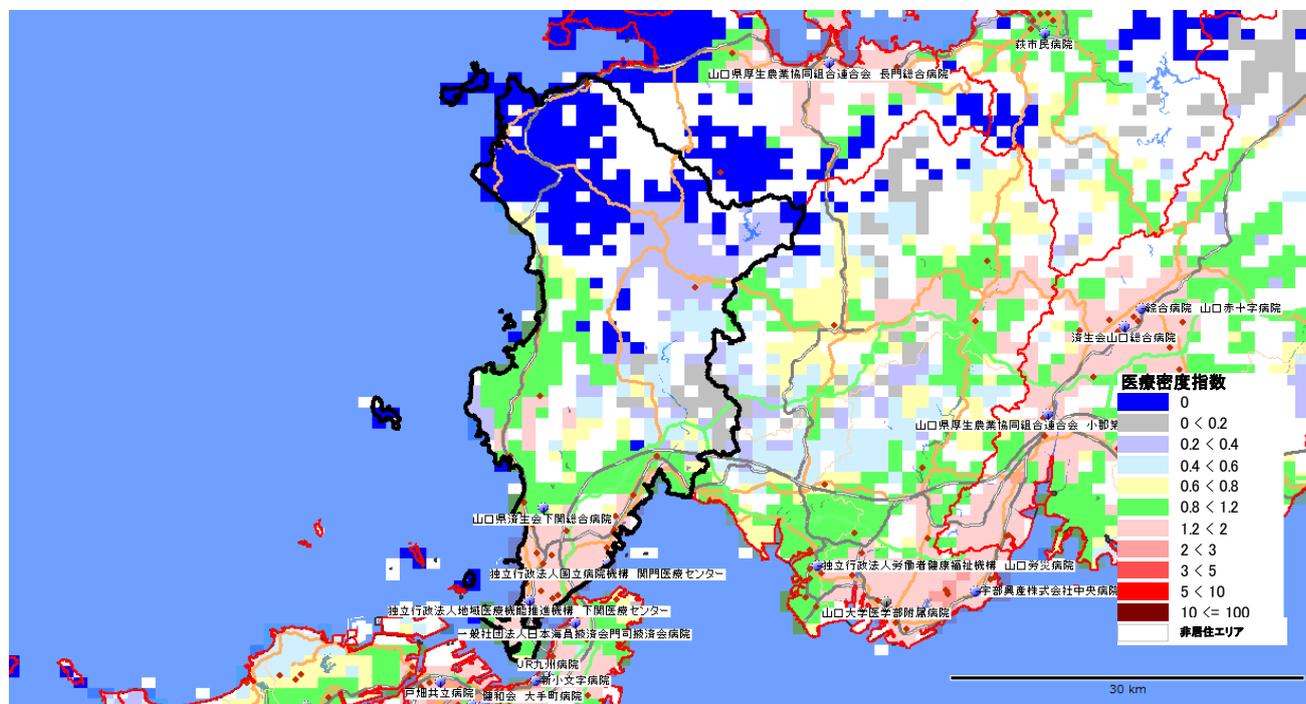
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

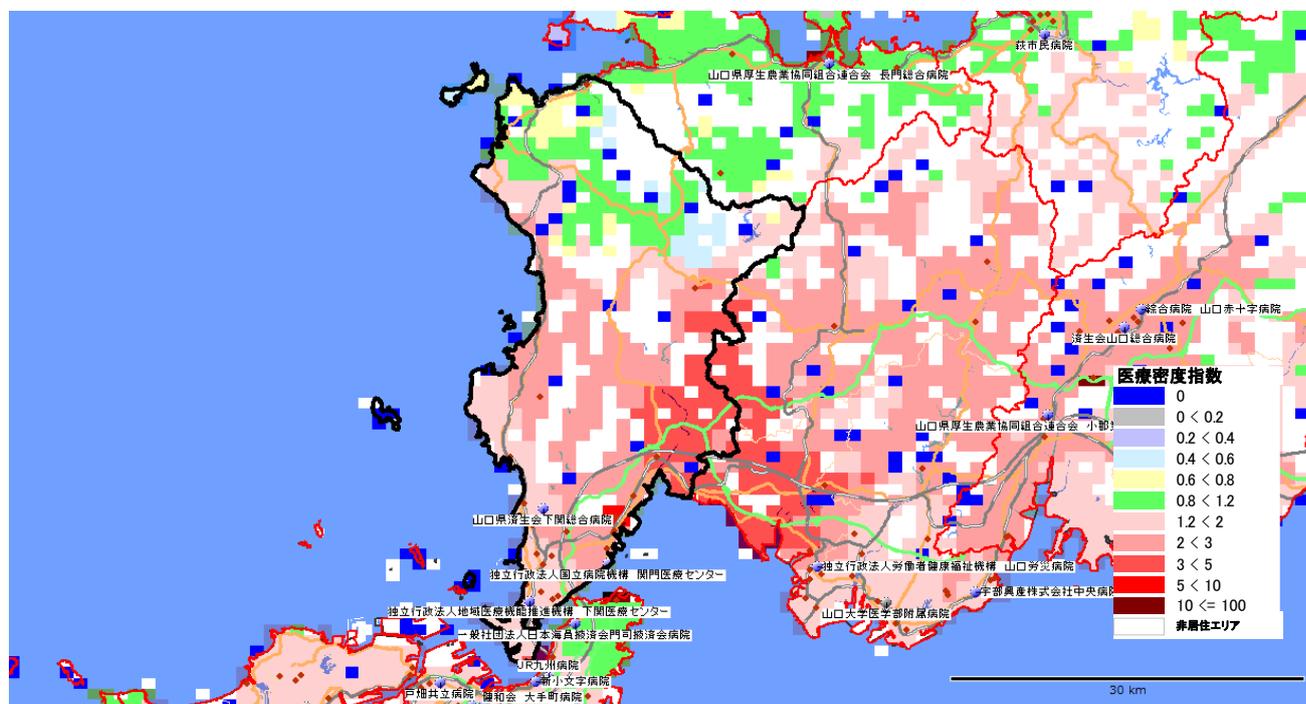
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-6-1 急性期医療密度指数マップ

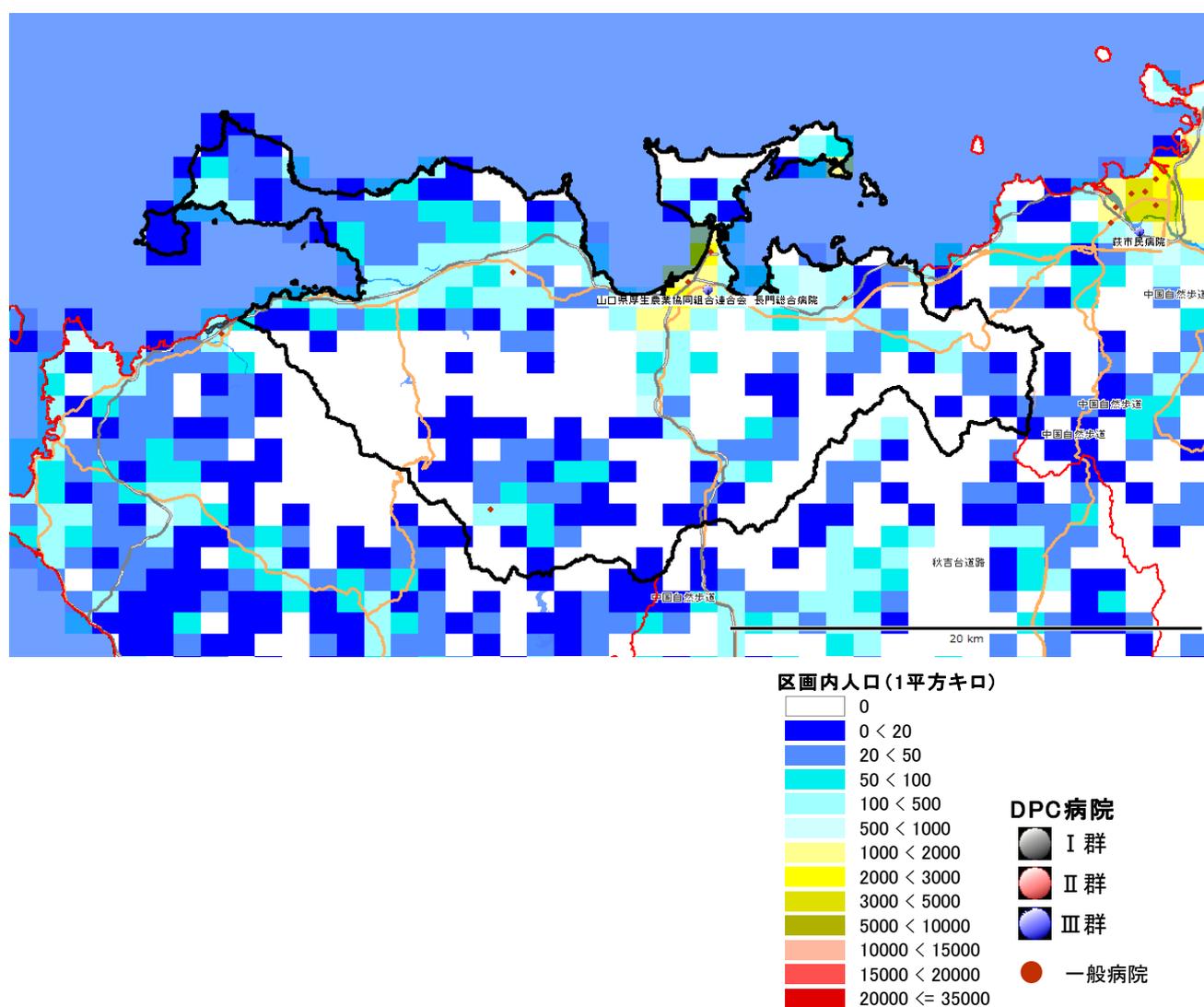


図表 35-6-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# ながと 35-7. 長門医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [長門市](#)人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 長門医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (長門医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長門(長門市)は、総人口約 35 千人(2015 年推計)、面積 358 km<sup>2</sup>、人口密度は 99 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 長門の総人口は 2025 年に 30 千人へと減少し(2015 年比-14%)、2040 年に 22 千人へと減少する(2025 年比-27%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 8 千人が、2025 年にかけて 8 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 7 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長門の一人当たり医療費(国保)は 392 千円(偏差値 70)、介護給付費は 229 千円(偏差値 44)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長門の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は 3.3 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 51、診療所医師数 42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 70 と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 64 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 42 と少ない。長門には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 70 と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 58 と多く、回復期病床数は存在しない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 79 で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長門の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、668 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 520 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 148 床(偏差値 38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、517 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 62、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 42、サ高住 51 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しな

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

い。介護職員（在宅）の合計は、55人（75歳以上1000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-3%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

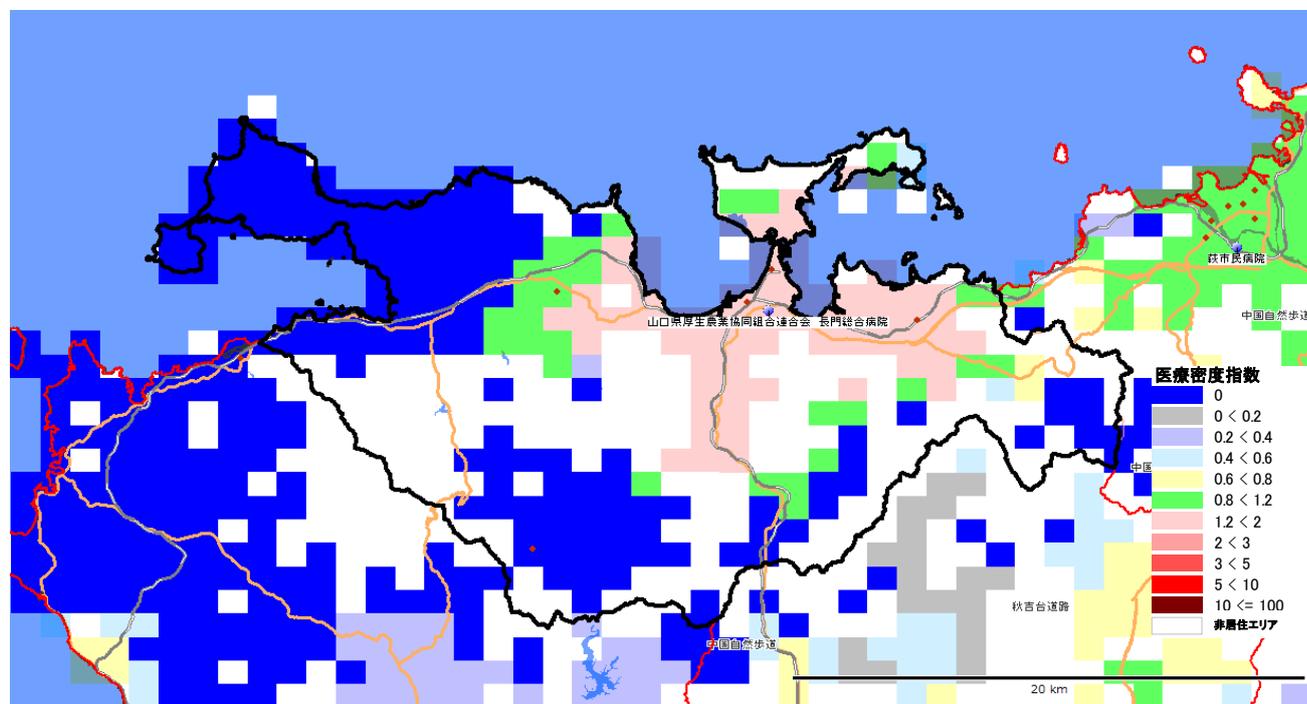
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

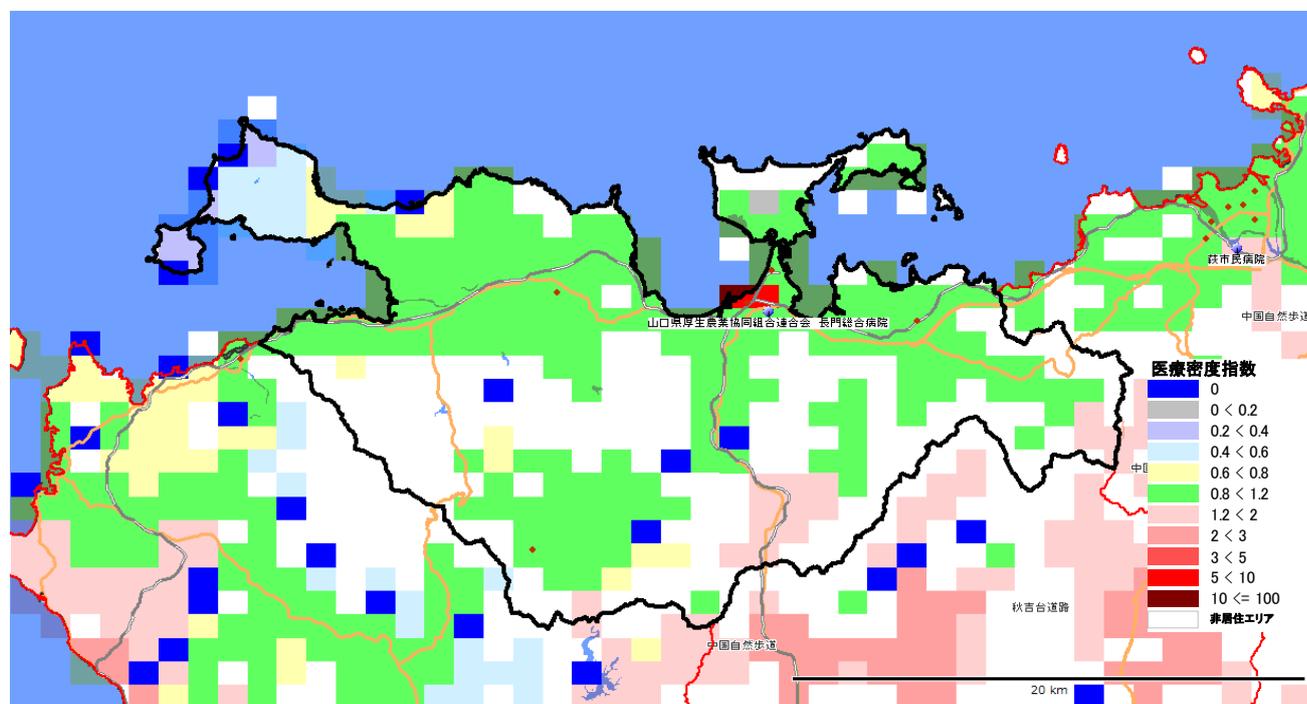
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-7-2 慢性期医療密度指数マップ

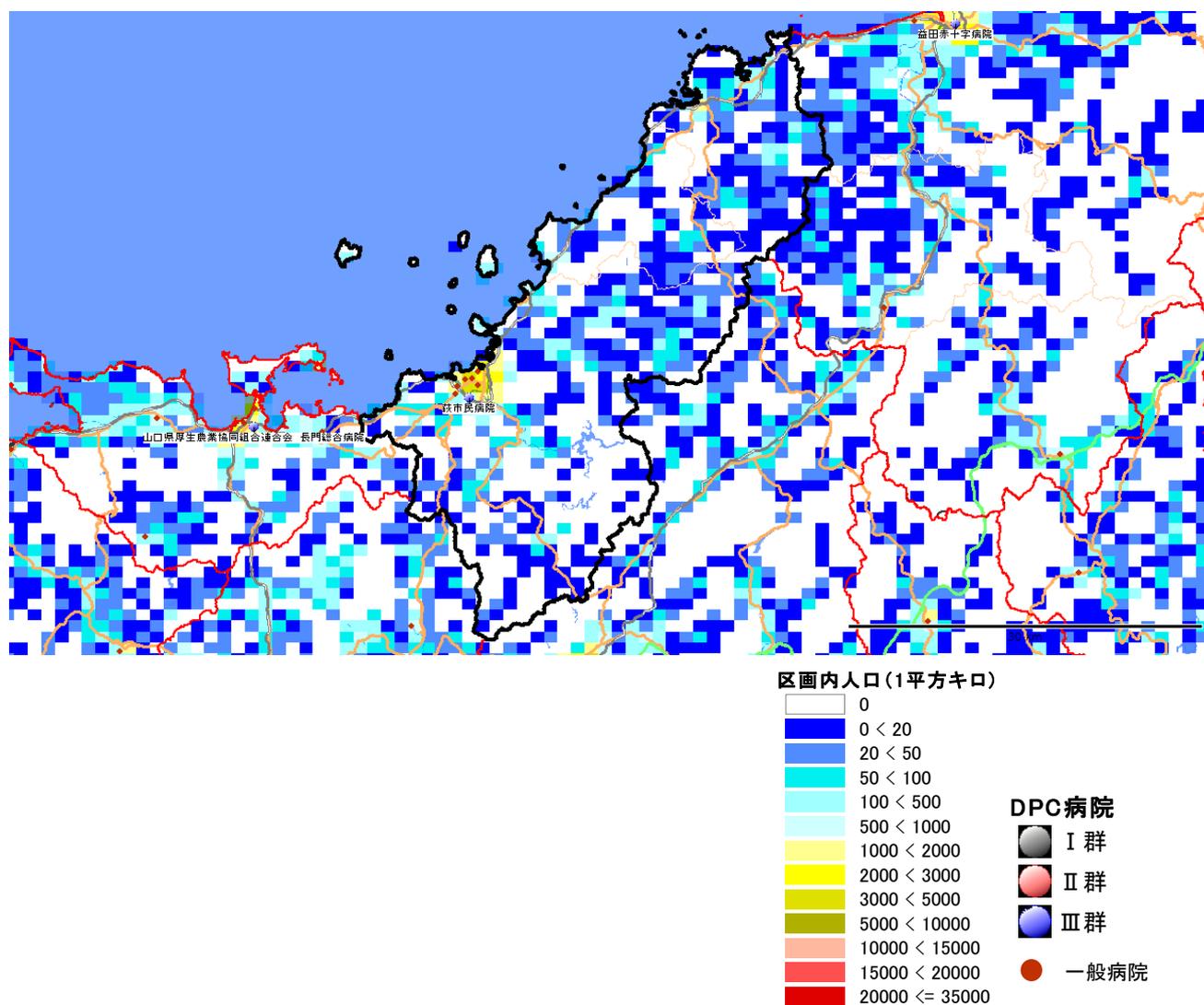


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 35-8. はぎ 萩医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [萩市](#), [阿武町](#)

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 萩医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (萩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 萩(萩市)は、総人口約 53 千人(2015 年推計)、面積 815 km<sup>2</sup>、人口密度は 65 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 萩の総人口は 2025 年に 44 千人へと減少し(2015 年比-17%)、2040 年に 32 千人へと減少する(2025 年比-27%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 12 千人が、2025 年にかけて 13 千人へと増加し(2015 年比+8%)、2040 年には 10 千人へと減少する(2025 年比-23%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 萩の一人当たり医療費(国保)は 395 千円(偏差値 70)、介護給付費は 272 千円(偏差値 56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 萩の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.39 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 44、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 46 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 43 と少ない。萩には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 84 と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 47 とやや少なく、回復期病床数は存在しない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 62 で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 萩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1046 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 862 床(偏差値 61)、高齢者住宅等が 184 床(偏差値 35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、880 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 37、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設 78、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 66、グループホーム 43、サ高住 37 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 40 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 54 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

やや多い。介護職員（在宅）の合計は、77人（75歳以上1000人当たりの偏差値37）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

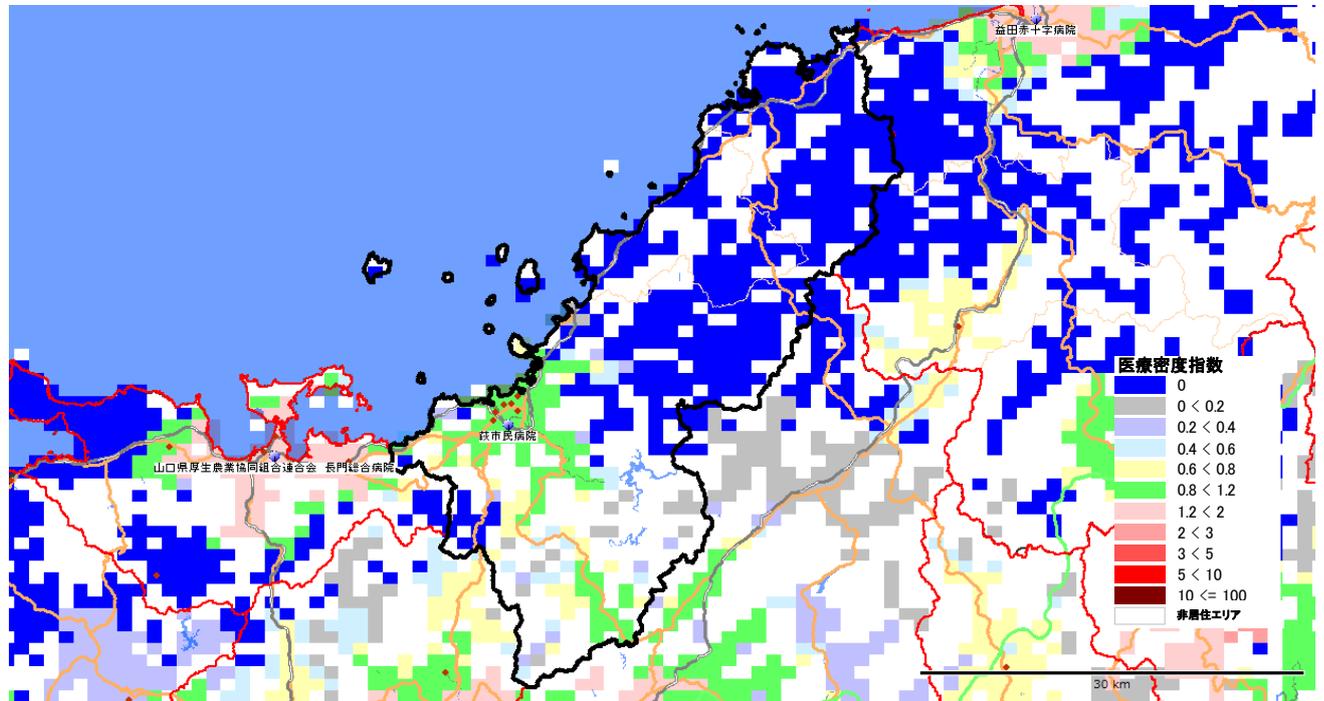
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

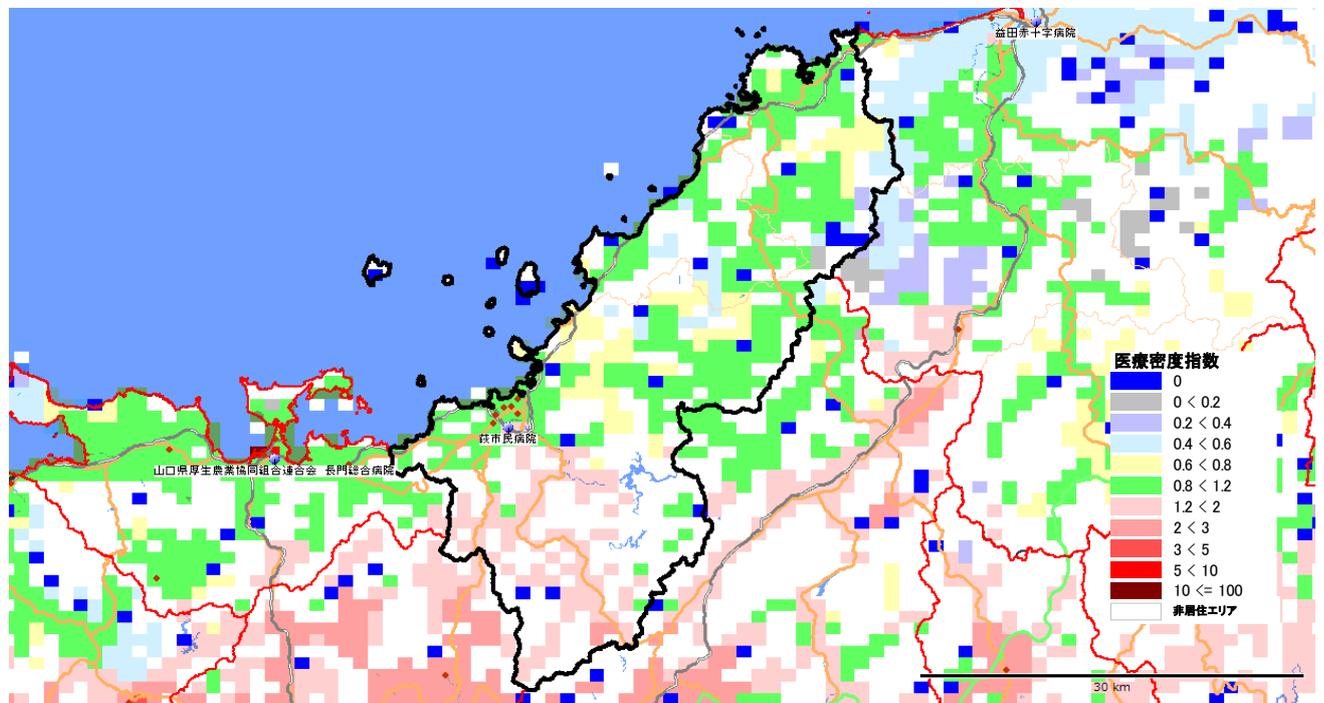
## 35. 山口県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 35-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表 35-8-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。